

第1号議案
第2号議案
第3号議案
第4号議案

2024 年度 事業報告書・収支決算書

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

2025 年度 事業計画書・収支予算書

自 2025 年 4 月 1 日
至 2026 年 3 月 31 日

2025 年 7 月

日本内燃機関連合会

【 第1号 議案 】

2024年度 事業報告書

日本内燃機関連合会

日本内燃機関連合会は、CIMAC(国際燃焼機関会議)関係事業、標準化事業、及び技術普及・広報活動事業の 3 つの事業を中心に、2024 年度も活動を行った。

1. CIMAC(国際燃焼機関会議)関係事業

1.1 CIMAC 役員会・評議員会

1.1.1 役員会・評議員の日本の委員(2025 年 3 月末現在)

日本からは、CIMAC の各役職に次の委員が就任している(敬称略)。

CIMAC 副会長(役員;NMA 間連携強化担当)

高畑 泰幸(ヤンマーパワーテクノロジー)

CIMAC 評議員

廣仲 啓太郎(IHI 原動機) (～2024 年 6 月)

宮地 健(三井 E&S) (2024年 7 月～)

CIMAC 評議員

川上 雅由(日内連事務局代表)

なお、評議員会は、CIMAC 参加国(国代表会員、NMA;National Member Association)(15ヶ国:-1)からそれぞれ 2 名までと、企業会員(CM;Cooperate Member)(7ヶ国:-2 ; 11 企業:-3)から選出された 1 名の評議員、並びに役員及び本部事務局(在ドイツ/フランクフルト;VDMA(ドイツ機械工業連盟内)で構成される (数は、2025 年 3 月 CIMAC 本部 Web サイトより; +は昨年度報告からの増減)。

また、役員会は、会長、副会長 9 名、前会長及び本部事務局長の 12 名で構成される。

役員は、通常任期は CIMAC 大会終了後から次の CIMAC 大会終了までの 3 年間であるが、釜山大会が新型コロナウイルス感染症で 1 年延期となったため、第 31 回 CIMAC 大会では役員改選は行わず、現在の役員が 2028 年開催の第 32 回 CIMAC 大会終了までの任期の予定である。

会 長: Rick Boom(オランダ、ウッドワード)、前会長: Donghan Jin (中国;天津大学)

副会長(9 名):デンマーク・ドイツ・フィンランドから各 2 名、イタリア・スイス・日本から各1名

事務局長: ドイツ

1.1.2 役員会・評議員会の開催状況

CIMAC 役員会及び評議員会は 4 月の春の会議が中国天津においてハイブリッド会議で、10 月の秋の会議がフランクフルト VDMA 内会議室でのハイブリッド会議で開催された。春・秋の会議ともオンラインでの参加は数人程度または 0 であった。役員会・評議員会等の開催状況及び日本からの出席者は、次のとおりである(敬称略)。

開催年月日	開催場所	会議名	日本からの出席者
2024 年 4 月 18 日(木)	中国 天津市 ルネッサンス天津内会議室 ハイブリッド会議	CIMAC 役員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー)
2024 年 4 月 19 日(金)	中国 天津市 ルネッサンス天津内会議室 ハイブリッド会議	CIMAC 評議員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー) 廣仲 啓太郎 CIMAC 評議員(IHI 原動機) 川上 雅由 CIMAC 評議員(日内連)
2024 年 11 月 5 日(火)	ドイツ国 フランクフルト市 VDMA 内会議室 ハイブリッド会議	CIMAC 役員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー)
2024 年 11 月 6 日(水)	ドイツ国 フランクフルト市 VDMA 内会議室	CIMAC 評議員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー) 宮地 健 CIMAC 評議員(三井 E&S) 川上 雅由 CIMAC 評議員(日内連)

1.1.3 CIMAC 評議員会での主要議事(CIMAC 活動概要)

a) 春(4 月)の評議員会

1) 日時: 2024 年 4 月 19 日 10:00-15:00

2) 会場: 中国、天津市、ルネッサンスホテル内会議室

3) 出席者

CIMAC 役員、CIMAC チューリッヒ大会会長、NMA(National Member Association)からの評議員を含め、16 名強が参加した。

4) 議事概要

4.1) CIMAC の財政

2024年の NMA、CM 会員の支払い状況報告が行われた後、2023 年決算案の説明及び監査役からの監査報告があり、承認された。

また、事務局から CIMAC の資金状況について、2014 年からの経緯及び 2030 年までの予測の説明があり、今後の資金予測から、インフレによる会費値上げや CIMAC サークルその他のイベントのスポンサー導入などのアイデアが紹介されたので、日本から本年までの 3 年間で約 40%の会費値上げ、円安の状況を踏まえると、現状これ以上の会費値上げ対応は困難である旨報告しノートしていただいた。

4.2) CIMAC 大会

事務局から第 31 回 CIMAC チューリッヒ大会の準備状況について以下について報告があった。なお、2023 年 6 月に開催された第 30 回 CIMAC 釜山大会についての最終レビュー報告は特段なかった。

- 下記項目検討などにより Digitalization、Towards Net Zero、Engine Optimization & Retrofits、Basic Research & Adv. Engineering、Operators Perspective をテーマとしたトピックスを検討。
 - ・ 陸用発電、非シャフトライン推進装置、鉄道車両のトピックス強化
 - ・ 船主/オペレーターの involve
 - ・ 既成概念にとらわれないトピックを含む(原子力、AI、燃料電池、電化、変換)
 - ・ 大会の冒頭での包括的なテーマに関するパネルディスカッション
 - ・ 政治家や NGO の代表者など、通常の CIMAC コミュニティに属していない人を招待。
 - ・ Call for Papers では約 20 のトピックを使用
- 日程方針、論文準備日程、スポンサーシップ、参加費用、テクニカルツアー、オプションツアーなどの準備状況

4.3) Strategy Group (StG)及び Working Groups (WG)

Digitalization StG のポジションペーパーGHG StG のホワイトペーパー準備状況などの簡単な報告、WG10 Users の活動再開の報告があった。

4.4) IMO への NGO オブザーバー資格申請状況について報告があった。

4.5) CIMAC 行事

- ・ 以下の CIMAC イベント予定について報告があった。
 - ・Posidonia、June 3-7、2024、Athens、Greece - 2024 年 6 月 3 日 ギリシャ NMA の Hellas のメンバーと交流
 - ・SMM、September 3-6、2024、Hamburg、Germany - 2024 年 9 月 5 日 CIMAC Circle
 - ・CIMAC Working Group Meeting Week - 2024 年 12 月 10~12 日、フランクフルト
 - ・Ship Operators Roundtable - 2024 年 9 月 3~6 日、SMM

4.6) CIMAC PR/Communications

SNS 活用によるメディアへの発信及び web サイトへの掲載を定期的に実施、SNS の LinkedIn を積極的に活用して現在のフォロワーは 2,650 人、ニュースレターの発信などについて報告があった。

4.7) 今後の会議の開催日程・場所

- イ) 2024 年秋の会議 2024 年 11 月 5~11 月 6 日 役員会、評議員会 フランクフルト(ドイツ)
- ロ) 2025 年春の会議 2025 年 5 月 18 日 役員会、評議員会 チューリッヒ(スイス)

b) 秋(11 月)の評議員会

1) 日時: 2024年11月6日 09:00-14:00

2) 場所: ドイツ、フランクフルト VDMA 内会議室

3) 出席者

CIMAC 役員、NMA、CMからの評議員含め、約31名が参加した。

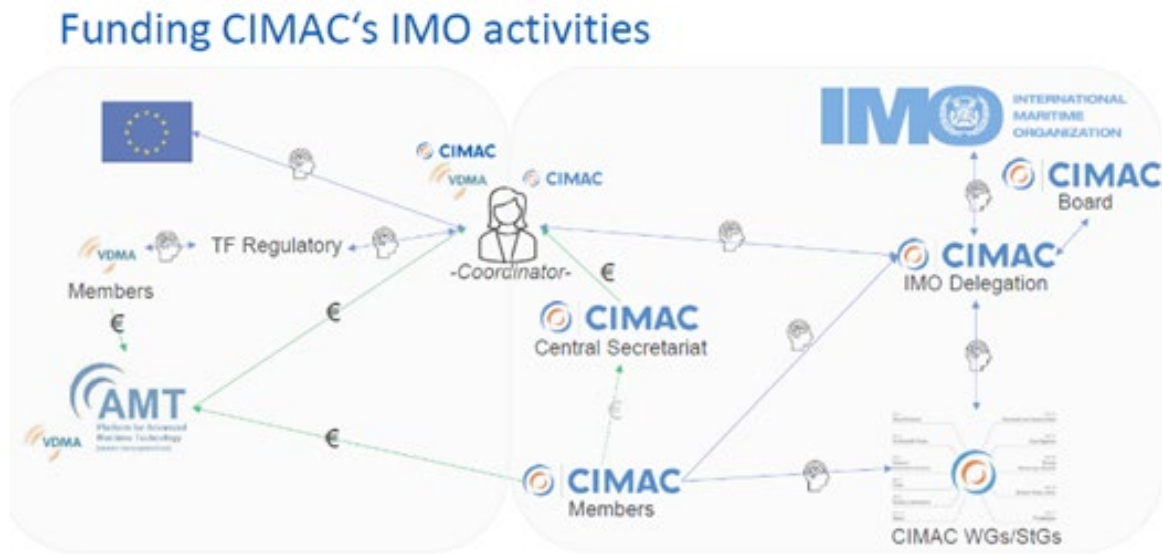
4) 議事概要

4.1) 役員会議での議論報告

事務局から役員会議で議論された以下報告があった。

- 現状の役員について、現在までのVP Usersの名称がVP Maritime Operatorsに変更となったこと、Dekena氏の後任のWG副会長としてBV Marine FuelsのRøjgaard氏が就任
- 2025年CIMAC大会から2028年CIMAC大会までの役員は、現在の役員が2028年CIMAC大会まで務めることになっている。ただし、2025年のCIMAC大会をもってテクニカルプログラム副会長のHeim氏、グローバル統合担当副会長の高畑氏が退任するとともに、新しくPower Gen Operators副会長が新設される旨報告があった。後任及び、新副会長は2025年春の評議員会で最終決定される。

- CIMAC事務局職員について紹介があり、Regulatory Affairsが新に追加されるとの報告があり、また、IMOに対する今後の活動案についても説明があった。今後は、VDMAの中にAMT(Advanced Maritime Technology) Working Group Platformを設置して以下のような流れでIMO及びEU関係の問題に対応していく説明があった。AMTからIMO対応の人件費を分担してもらうことも考慮されているものである。CIMACメンバーは、費用を分担することでAMTプラットフォームに参加できる。



4.2) CIMAC の財政

- 2025年予算案の説明があり承認された。
- CIMAC資金の状況について説明があり、2024年までの会費値上げによる資金状況を維持すべく、以下の手法の提案があった。
 - ・CIMACサークルその他のイベントのスポンサー導入
 - ・インフレによる浮動会費制(毎年のCIMAC会費を前々年のドイツ名目賃金指数と同じ程度に調整する。例えば、前々年の指数が 2% の場合、その年の会費を2%増額する。)の提案があった。インフレ浮動制については、2026年会費から採用方針とのことで、インフレ数値の決定方法(タイミングなど)について議論があった。2025年春の会議で決定される。
- 次期監査役の再任投票が行われ、Southwest Research InstituteのRyan Roecker氏が再任された。

4.3) CIMAC活動

- 12月に開催されるWG/StG会議週間の取り組み、WG20(システム統合)の新議長・新幹事、WG22 Radiated Noise (IMOでの審議トピック対応)新設の説明があった。
- WG7の2件の最新発刊資料について紹介があった。
- NMAレポート

事務局から事前に要請のあった報告事項(I. What have been the highlights / problems of the latest years?、II. What activities has the NMA had? III. How are things going in terms of recruiting new members?)について、各NMA(オーストリア、中国、デンマーク、フィンランド、ドイツ、ギリシャ、日本、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、スイス、英国、米国)から報告が行われた。

各国の報告をまとめると概略以下のようなになる。

	報告内容
I	・NMAアイデンティティの確立・向上 ・会員数の維持・増加が問題 ・新燃料入手、労働力不測の問題
II	・NMA間の交流 ・NMA会議他定例会議等 ・ミラーワーキンググループ(ギリシャでも開始) ・エンジン技術に関する学生への奨学金給付
III	・会員数の増加に前向きなNMAがある一方で、増加策がなかなか見いだせないNMAがある。

- 事務局から以下のイベント計画が報告された。
 - ・Posidonia, June 3-7, 2024, Athens, Greece - Networking及びスポンサーによる夕食会が開催された。
 - ・SMM, September 3-6, 2024, Hamburg, Germany - CIMAC Circle、Ship Operators Roundtable、CIMAC/VDMAスピーカーズコーナー等

- ・CIMAC大会スポンサー関係
- ・新しい方式のCIMACイベント(CIMACx)
- ・2025年イベント
 - CIMAC大会、Nor-Shipping、CIMACx、electric & hybrid marine、London International Shipping Week、Marintec China
- ・CIMAC CASCADES - CIMAC CASCADES開催幹旋。2024年は8月に青島(中国)で、9月にロストック(ドイツ)で開催された。

4.4) CIMAC大会

- 第31回CIMACチューリッヒ大会2025

事務局から以下の準備状況報告があった。

- ・テクニカルプログラム(Preliminary Program)の概略日程紹介
- ・展示会場に関する目標達成のための協力要請。日本からは1社が展示する情報を得ている。
- ・チューリッヒ大会のプログラム、参加登録、テクニカルツアー参加、スポンサー/展示などはCIMAC大会サイトの確認要請。

- 第32回CIMAC大会2028開催国

- ・オランダNMA及びベルギーCMからNorth Sea Delta CIMAC Congress 2028と題して共同開催の提案があった。・開催方針、会場を含めた開催地(アントワープ、ロッテルダム、ハーグ)の状況などの説明のあと、開催地の投票があり、ベルギーのアントワープが第1候補となった。最終的には2025年春の評議員会で決定される。

4.5) CIMAC PR/Communications

LinkedIn、Web サイトの手法などによる、11 月までの活動、CIMAC 大会キャンペーンなどを含めて報告があった。

4.6) CIMAC Technical Database

CIMAC Web サイトの Technical Database において、釜山大会以降のデータ入力ができなくなったため、新しいシステムを検討中との報告があった。

4.7) 今後の会議の開催日程・場所

- イ) 2025 年春の会議 2025 年 5 月 18 日 役員会、評議員会 チューリッヒ(スイス)
- ロ) 2025 年秋の会議 オンライン会議？

1.2 第 11 回 CIMAC 極東 NMA(日・中・韓)会議

1.2.1 はじめに

CIMAC 極東 NMA 会議は、極東地域での CIMAC 活動活性化のために伊藤 CIMAC 会長(当時)のリーダーシップの下 2010 年 11 月から、年 1 回、輪番で決定されるホスト国が開催することで始められた。特に船用機関の製造では世界をリードしている韓国、著しい成長を遂げている中国の CIMAC 活動への積極参加と貢献を促す狙いがある。第 1 回は 2010 年に東京の日内連事務所で開催し、その後、輪番で中国、韓国で開催されてきた。今回(第 11 回)はコロナ禍後に初めて中国がホストとなり、中国青島市で開催された。

(過去の開催状況)

第 1 回(2010 年 11 月)	東京	日本(日内連)
第 2 回(2011 年 8 月)	青島	中国(CSICE* /QMD)
第 3 回(2012 年 7 月)	蔚山	韓国(KOFCE* /現代重工)
第 4 回(2013 年 10 月)	長崎	日本(日内連/三菱重工船用機械エンジン、九州大学)
第 5 回(2015 年 1 月)	重慶	中国(CSICE)
第 6 回(2015 年 7 月)	木浦	韓国(KOFCE/木浦海洋大学)
第 7 回(2016 年 10 月)	長浜	日本(日内連/ヤンマー)
第 8 回(2017 年 10 月)	紹興	中国(CSICE/ Ningbo C.S.I. Power & Machinery Group)
第 9 回(2018 年 7 月)	ソウル	韓国(KOFCE/Doosan Infracore)
第 10 回(2019 年 10 月)	新潟	日本(日内連/IHI 原動機)

1.2.2 開催日・場所: 2024 年 8 月 16 日 青島市、Wyndham Grand Qingdao Hotel

1.2.3 主要行事

8 月 15 日(木)	夜:	歓迎会
8 月 16 日(金)	午前:	CIMAC 極東 NMA 会議 (ホテル内会議室)

1.2.4 出席者 (合計 13 名)

議長: Jin Donghan 氏(中国、CIMAC 前会長・CSICE 会長)

メンバー: 日本 NMA(日内連)	2名
中国 NMA(CSICE)	6名
韓国 NMA(KOFCE)	2名

(注 *) NMA: National Member Association (CIMAC の国単位の会員組織)
 CSICE: Chinese Society for Internal Combustion Engines
 KOFCE : KOrea Federation of Combustion Engine

1.2.5 主要議事項目

- 1) 日・中・韓 NMA の活動報告
 - 2) 日・中・韓 NMA の CIMAC WG 活動報告
 - 3) 韓国からエンジン業界編成の編成について報告
 - 4) アジア地区 CIMAC イベントへの報告・計画
- ・CIMAC CASCADES; 2024 年 8 月 14～15 日に青島で開催。(今回から極東 NMA 開銀際には CASCADES 開催)
 ・次回 2025 年極東会議について議論し、10 月に韓国 巨済(コジェ)で極東 NMA 会議及び CASCADES 開催となったが、その後の KOFCE 会長との話で、本計画が変更される可能性があるとのことであった。

1.3 CIMAC WG(作業グループ)と日本対応の国内委員会

(2025-03-31)日本内燃機関連学会

CIMAC(国際燃焼機関会議)	会長	Rick Boom (Woodward, Netherlands)
	事務局長	Peter Müller-Baum (CIMAC, Germany)
	WG 担当副会長	Gunnar Stiesch (MAN E.S., Germany)
	WG 担当副会長	Charlotte Røjgaard (Bureau Veritas)
	CIMAC 副会長(役員)	高畑泰幸(ヤンマーパワーテクノロジー) / Y. Takahata
	評議員	宮地健(三井 E&S) / K. Miyachi
日本からの役職者	評議員	川上雅由(日内連) / M. Kawakami
	主査会議議長: ヤンマーパワーテクノロジー	高畑泰幸 特機事業部・顧問
	事務局: 日本内燃機関連学会	川上 雅由 専務理事

WG No.	WG Title, Chairman,	国内対応委員会	国内委員会主査	備 考
02	WG: Classification (船級協会) C.O. Rasmussen (MAN E.S./ Denmark)	日内連 WG2 対応国内委員会 JICEF WG2 committee	西崎 宏美 H. Nishizaki (三井 E&S)	
04	WG: Crankshaft Rules (クランク軸の規則) T. Frondelius (Wärtsilä/ Finland)	日内連 WG4 対応国内委員会 JICEF WG4 committee	平尾 健一郎 K. Hirao (神戸製鋼)	
05	WG: Exhaust Emission Control (排気排出物の制御) D. Peitz (Hug Eng./Switzerland)	日内連 WG5 対応国内委員会 JICEF WG5 committee	佐藤 純一 J. Sato (IHI 原動機)	
07	WG: Fuels (燃料油) B. Rozmyslowicz (WinGD/ Switzerland)	日内連 WG7 対応国内委員会 JICEF WG7 committee	竹田 充志 A. Takeda (日本油化)	
08	WG: Marine Lubricants (船用潤滑油) D. Jacobsen (Ms) (MAN E. S. / Denmark)	日内連 WG8 対応国内委員会 JICEF WG8 committee	下川 啓介 K. Shimokawa (ダイハツディーゼル)	
10	WG: Users (非公開) (ユーザー) E. Boletis (Enarete Marine BV/ The Netherlands)	(船社が個々に対応)		日本船社3社
15	WG: Controls and Automation (制御と自動化) F. Ostman (Wärtsilä/ Finland)	日内連 WG15 対応国内委員会 JICEF WG15 committee	出口 誠 M. Ideguchi (ナブテスコ)	
17	WG: Gas Engines (ガス機関) I. Wilke (MAN E.S./ Germany)	日内連 WG17 対応国内委員会 JICEF WG17 committee	壽 和輝 K. Toshinaga (ヤンマーパワーテクノロジー)	
19	WG: Inland Waterway Vessels (内陸河川船舶) F. Wang (SMDERI/ China)	日内連 WG5 対応国内委員会に対応	佐々木慶典 Y. Sasaki (ヤンマーパワーテクノロジー)	
20	WG: System Integration (システム統合) H. Mohr (GasKraft Engineering / Germany)	日内連 WG15 対応国内委員会に対応	鈴鹿 廣志 H. Suzuka (IHI 原動機)	

WG No.	WG Title, Chairman,	国内対応委員会	国内委員会主査	備 考
21	WG: Propulsion (推進装置 (現状:Azimuth 等のルール検討)) T. Tamminen (Steerprop/ Finland)	日内連 当面メールベース	進士 禎一郎 T. Shinji (川崎重工業)	IHI 原動機、川崎 重工業で対応
22	WG: Radiated Noise (水中放射騒音) D. Erdmann (CIMAC e.V)	日内連 当面WG22 国内対応委員会設置せず		

1.4 CIMAC WG 国際会議の状況(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

CIMAC WG 国際会議の開催状況及び日本からの出席者は、次のとおりである(敬称略)。

開催年月日	開催場所	WG会議名	日本からの出席者
2024 年			
4 月 10/11 日	ハイブリッド会議/ヨーテボリスウェーデン	WG 4 クランク軸の規則	塙 洋二(神戸製鋼)
4 月 16 日	ハイブリッド会議/アウグスブルグドイツ	WG15 制御と自動化	川瀬 貴章(ナブテスコ)
4 月 16/17 日	ハイブリッド会議/デルネン/オランダ	WG21 推進装置	畑本 拓郎(IHI 原動機)
4 月 16/18 日	コペンハーゲン/デンマーク	WG 7 燃料	竹田 充志(日本油化工業)
4 月 24 日	ウインターツール/スイス	WG20 システム統合	廣仲 啓太郎(IHI 原動機)
5 月 14 日	ハイブリッド会議/デッサウドイツ	WG17 ガス機関	中山 貞夫(IHI 原動機)
6 月 13 日	ハイブリッド会議/ヨーテボリスウェーデン	WG2 船級協会	西崎 宏美(三井 E&S)
6 月 12/13 日	Web 会議	WG5 排気排出物の制御	佐藤 純一(IHI 原動機)
7 月 10 日	Web 会議	WG19 内陸河川船舶	佐々木 慶典 (ヤンマーパワーテクノロジー)
10 月 9 日	Web 会議	WG5 排気排出物の制御	佐藤 純一(IHI 原動機)
10 月 16/17 日	ハイブリッド会議/エリー /米国	WG 4 クランク軸の規則	塙 洋二(神戸製鋼)
10 月 29/31 日	アムステルダム/オランダ	WG 7 燃料	大内 隆彰(商船三井)
11 月 4 日	ハイブリッド会議/アントワープ/ベルギー	WG17 ガス機関	壽 和輝 (ヤンマーパワーテクノロジー)
11 月 6 日	Web 会議	WG21 推進装置	進士 禎一郎(川崎重工業)
11 月 19 日	Web 会議	WG20 システム統合	鈴鹿 廣志(IHI 原動機)
12 月 10 日	ハイブリッド会議/フランクフルトドイツ	WG2 船級協会	西崎 宏美(三井 E&S)
12 月 11 日	ハイブリッド会議/フランクフルトドイツ	WG20 システム統合	鈴鹿 廣志(IHI 原動機)
12 月 11/12 日	フランクフルトドイツ	WG5 排気排出物の制御	佐藤 純一(IHI 原動機)
12 月 12 日	フランクフルトドイツ	WG8 船用潤滑油	太田 潤 (ダイハツディーゼル)
12 月 12 日	フランクフルトドイツ	WG15 制御と自動化	川瀬 貴章(ナブテスコ)
12 月 18 日	Web 会議	WG19 内陸河川船舶	佐々木 慶典 (ヤンマーパワーテクノロジー)
2025 年			
2 月 10 日	Web 会議	WG21 推進装置	進士 禎一郎(川崎重工業)
3 月 24 日	Web 会議	WG5 排気排出物の制御	佐藤 純一(IHI 原動機)

(注)・WG10 "ユーザー"の会議は、基本的には非公開で開催される。

2. 標準化事業 ISO(国際標準化機構)関係及び国内標準化事業関係

標準化事業のうち、ISO 関係(ISO/TC70(往復動内燃機関専門委員会)及び ISO/TC192(ガスタービン専門委員会))の国際標準化事業については、経済産業省イノベーション・環境局からの委託により国内審議団体として実施している。JIS 関係の国内標準化事業については、経済産業省イノベーション・環境局、日本規格協会の委託を受け、特に国際規格と整合した国内規格の原案調査作成を行っている。

日内連での標準化関係の作業については、従来と同様に、内燃機関標準化委員会の下に、分野毎に委員会を設けて作業を進めている。

2.1 ISO/TC70(往復動内燃機関専門委員会)

2.1.1 ISO/TC70 の活動状況

TC70 本会議が 2024 年 10 月にハイブリッド会議(パリ市 Maison de la Mecanique 会議室 / Zoom 会議)で開催され、TC70 の活動状況として、P メンバ 16 か国、O メンバは 2024 年よりウズベキスタンが参加し 23 か国となり、傘下に 2 つの SC(7、8)、4 つ(活動中)の WG(2、10、13、14)があり、TC70 で改正作業中の 6 規格の紹介があった。

1) TC70(本会議)での各 WG の報告

1.1) TC70/WG2(用語及び定義)

ISO2710-1(機関の設計と操作)改定提案に対して、中国よりスケジュール見直し(1 年延期)の提案があり了承された。

また、中国より WD 見直し、再提出の予定。ISO7967-8(始動装置) 改正提案があり了承された。

1.2) TC70/WG10(発電装置- 電気関連)

8528-5(発電セット)について DIS 投票が Approve され FDIS へ進めることになった。

1.3) TC70/WG13(空気伝播音)

改正作業中の ISO15619 及び ISO13332 について、ともに CD をスキップし、DIS へ進める予定。

1.4) TC70/WG14(発電装置-機械関連)

WG14 事務局の Chakik Reda 氏より WG14 活動内容(N1354)の報告があり承認された。ISO8528-13 について改正作業中(CD 段階)。

2) ISO/TC70/SC7(潤滑油フィルタ試験)分科委員会

a) ISO/FDIS 4548-15(樹脂容器の振動試験):FDIS 投票結果否決(日本も反対投票)。DISから復活させるべく、FDIS 時のコメントを反映した DIS 素案を審議中。

b) TC70/SC7 解散の提案が事務局よりあり、TC70 CIB 投票を実施した。賛成 8、反対 0、棄権 8 の結果で TMB 投票に進めることとなった。その後、ISO/TC70/SC7 解散が承認され、新たに ISO/TC70 の WG の一つとして活動を継続することになった。

3) ISO/TC70/SC8(排気排出物測定方法)分科委員会

a) ISO8178-9(フィルタスモーク計測)の SR 投票実施中。

b) ISO8178-1(測定装置)、-4(排出物計算)、-5(試験燃料)について、脱炭素燃料への対応を検討中。2025/1 に CD に進める予定。

2.1.2 国際会議開催状況

会議名	開催期日	開催地	出席者(敬称略)
2024 年			
ISO/TC70/WG14 (往復動内燃機関駆動発電装置 - 機械的性状)	4 月 10 日	Zoom 会議	*杉本竜大(ダイハツ D) *鈴鹿廣志(IHI 原動機) *山崎克俊(本田技研工業) *芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/SC8/WG6 (ISO 8178 の改正)	7 月 2/4 日	フランクフルト / ドイツ ハイブリッド会議	茶屋達也(小松製作所) 西川雅浩(堀場製作所) 山室秀雄(東京プラント) 芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/WG10 (往復動内燃機関駆動発電装置 - 電氣的性状)	7 月 23 日	Zoom 会議	*鈴鹿廣志(IHI 原動機) *芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/SC7/WG8 (潤滑油ろ過器試験 - ISO4548-15 改正)	8 月 27 日	Zoom 会議	*竹内智彦(トヨタ紡織)
ISO/TC70/SC7/WG8	10 月 9 日	ロンドン / 英国 ハイブリッド会議	竹内智彦(トヨタ紡織)
ISO/TC70/SC8, TC70/SC8/WG6 (排気排出物計測 - ISO8178 の改正)	10 月 22/24 日	パリ / フランス ハイブリッド会議	茶屋達也(小松製作所) 西川雅浩(堀場製作所) 芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/WG2 (用語及び定義)	10 月 23 日	パリ / フランス ハイブリッド会議	芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/WG10	10 月 24 日	Zoom 会議	*鈴鹿廣志(IHI 原動機)
ISO/TC70 Plenary (往復動内燃機関)	10 月 25 日	パリ / フランス ハイブリッド会議	*畔津昭彦(東海大学) 芦刈真也(日内連) 茶屋達也(小松製作所) 西川雅浩(堀場製作所)

会議名	開催期日	開催地	出席者(敬称略)
2025 年			
ISO/TC70/SC8/WG6	2 月 6 日	Zoom 会議	*茶屋達也(小松製作所) *芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/WG14	3 月 18 日	Zoom 会議	*杉本竜大(ダイハツ D) *佐藤俊孝(デンヨー) *飯田道博(本田技研工業) *芦刈真也(日内連)

2.1.3 国内審議委員会の活動状況

2024 年度は ISO/TC70 国内審議委員会を 2024 年 6 月、10 月、12 月および 2025 年 3 月に開催し、TC70 の審議状況確認、方針決定などを行った。また、委託事業対応も含め、脱炭素燃料に対する排出物測定について SC 関係の審議に対応すべく ISO/TC70/SC8 国内審議委員会を 2024 年 6 月、9 月、12 月及び 2025 年 3 月にハイブリッド会議形式で開催した。TC70 に関する主要活動がコロナ禍以前のように活発になった。

なお、ISO/TC70/SC7 関係は従来と同じく、実質的な審議は日本自動車部品工業会の濾器技術部会に委託し、TC70 委員会で状況報告・承認を行った。

2.1.4 ISO/TC70 専門委員会、分科委員会(SC)及び作業グループ(WG)の構成及び国内審議委員会 (2025 年 3 月現在)

TC/SC/WG	名 称	幹 事 国	国 内 審 議 委 員 会
TC70	往復動内燃機関	中国	TC70 国内審議委員会 委員長 畔津 昭彦(東海大学客員教授/日内連参与) 主 査 芦刈 真也(小松製作所/日内連特別参与)
TC70/WG1	機関出力規格の調整	日本	WG1 担当 事務局で調整
TC70/WG2	用語及び定義		WG2 担当 事務局で調整(コンビナー:芦刈 真也)
TC70/WG3	図示記号		WG3 担当 島田 一孝(三井 E&S)
TC70/WG4	性能及び試験		WG4 担当 島田 一孝(三井 E&S)
TC70/WG5	ねじり振動		WG5 担当 事務局で調整
TC70/WG6	固体音		WG6 担当 辻 陽平(川崎重工業)
TC70/WG7	始動装置		WG7 担当 角田 裕(いすゞ自動車)
TC70/WG8	火災防止		WG8 担当 永澤 秀明(IHI 原動機)
TC70/WG9	無停電電源装置		WG9 担当 小林 喜美頼(ヤンマーパワーテクノロジー)
TC70/WG10 ⁴⁾	往復動内燃機関駆動発電装置- 電気的性状		WG10 担当 鈴鹿 廣志(IHI 原動機)
TC70/WG11	機関質量	中国	WG11 担当 島田 一孝(三井 E&S)
TC70/WG12	ISO3046-3 の改正		WG12 担当 島田 一孝(三井 E&S)
TC70/WG13 ²⁾	騒音(空気音)測定		WG13 担当 事務局で調整
TC70/WG14 ^{3),4)}	往復動内燃機関駆動発電装置- 機械的性状		WG14 担当 杉本 竜太(ダイハツディーゼル)
TC70/JWG16 ³⁾	ISO8528-7 & 9 の改正	フランス	WG16 担当 事務局で調整
TC70/WG	潤滑油ろ過器試験		WG 担当 竹内 智彦(トヨタ紡織) (実質的審議は日本自動車部品工業会に委託)
TC70/SC8	排気排出物測定		TC70/SC8 分科会 主 査 茶屋 達也(小松製作所)
TC70/SC8/WG6 ²⁾	ISO 8178 の改正		TC70/SC8 分科会 WG6 担当 茶屋 達也(小松製作所) 菊野 樹(堀場製作所)
—	TC22/ピストンピンの機械 ¹⁾	—	TC22 の国内審議団体である自動車技術会に協力し、TC70 国内審議委員会で対応 ピストンピンの WG 担当 永澤 秀明(IHI 原動機)

備考:幹事国欄の記載がない作業グループは、現在活動休止中。

ただし、国内規格への対応等を考慮して国内の担当は置いている。

(注) ¹⁾ ISO/TC22 での規格化であるが、ISO/TC70 の該当領域も含むので、担当委員を置いている。

²⁾ 2009 年 9 月の上海国際会議で新設された。

³⁾ ISO/TC108(機械振動)とのジョイント WG、2012 年 9 月のパリ会議で新設された。

⁴⁾ 低出力発電装置の部分については日本陸用内燃機関協会の携帯発電機研究会に審議を委託する。

2.2 ISO/TC192(ガスタービン)専門委員会

2.2.1 ISO/TC192 の活動状況

1.1) TC192 専門委員会

2023 年 9 月の Plenary 会議において、2024 年 9 月に米国テキサス(候補)にて対面/Zoom 会議開催を合意したが、2024 年の本会議は開催されなかった。

a) トピックス

- ・ WG11:ISO 2314(ガスタービンの受渡試験方法)、DIS 発行に向けて協議中(主としてリモートにて)
- ・ WG14:ISO18888(コンバインドサイクルの性能試験)改正提案が承認され、WD 準備中。

b) 次回の国際会議

2024 年の Plenary 会議が開催されなかったため、日本から ISO/TC192 議長および専門委員会マネージャに要請して 2025 年 5 月にミラノにて対面で開催されることになった。この Plenary 会議において、日本から水素燃料安全性に関する IS 規格の NWI 提案を行うことで準備を進めている。

2.2.2 国際会議開催状況

2024 年度は本会議など国際会議が開催されなかった。

2.2.3 国内審議委員会の活動状況

2024 年度も委託事業対応の関係から脱炭素化に対する安全性に関する議題を中心として、ISO/TC192 国内審議委員会および水素燃料安全性分科会合同会議を 2024 年 7 月、12 月および 2025 年 2 月にハイブリッド会議形式で開催した。また、2024 年 9 月には水素燃料分科会関係者による Web 会議を開催して 2024 年後半の方針を検討した。その他の ISO/TC192 投票関係などは書面審議のみとなった。

2.2.4 TC192 専門委員会及び作業グループ(WG)の構成並びに国内審議委員会 (2024 年 3 月現在)

TC/SC/WG	名称	幹事国	国内審議委員会
TC192	ガスタービン [すべてのガスタービン(コンバインド サイクルを統)]	アメリカ	TC192 国内審議委員会 委員長 川口 修(慶應義塾大学名誉教授/日内連参与) 主 査 伊東 正雄(東芝エネルギーシステムズ)
T192/WG1 ¹⁾	騒音		WG1 担当 (未定)
TC192/WG2 ¹⁾	排気排出物測定		WG2 担当 國廣 哲人(三菱重工業)
TC192/WG3 ¹⁾	コンバインドサイクル		WG3 担当 (未定)
TC192/JWG4 ^{1),3)}	ガスタービン用途 [TC67(石油ガス工業)/SC6(装置及びシステムとの合同 WG)]	ドイツ	WG4 担当 藤井篤之(IHI)
TC192/WG5 ¹⁾	運転・保全		WG5 担当 (未定)
TC192/WG6 ¹⁾	制御・計装・補機		WG6 担当 田中 良造(川崎重工業)
TC192/WG7 ¹⁾	燃料・環境		WG7 担当 國廣 哲人(三菱重工業)
TC192/WG8 ¹⁾	ガスタービン状態監視システム	ドイツ	WG8 担当 藤井篤之(IHI)
TC192/WG9 ²⁾	ガスタービン用途一発電用		WG9 担当 田中 良造(川崎重工業)
TC192/WG10	ガスタービン/安全性	イギリス	WG10 担当 伊東 正雄(東芝エネルギーシステムズ)
TC192/WG11	ISO 2314:1989(ガスタービン受渡試験方法)の改正	アメリカ	WG11 担当 宇野 光(東芝エネルギーシステムズ)
TC192/WG12	マイクロガスタービン	イギリス	WG12 担当 事務局で調整
TC192/WG13 ¹⁾	コージェネレーションシステム		WG13 国内作業委員会 委員長 川口 修(慶應義塾大学名誉教授/日内連参与)
TC192/WG14	コンバインドサイクル 試験方法	ドイツ	WG14 担当 宇野 光(東芝エネルギーシステムズ)
TC192/JWG15 ⁴⁾	空気音測定規格 (ISO10494)の改正	アメリカ	WG15 担当 事務局で調整
TC192/WG16	ガスタービン排気設備	イギリス	WG16 担当 (未定)

注 1) 幹事国欄の記載がない作業グループは、現在活動休止中。

ただし、国内規格への対応等を考慮して国内の担当は置いている。

2) 一時、活動を中止していたが、2006 年の TC192 本会議でイギリスを幹事国として再開。

3) TC192/JWG4 は TC67(石油ガス工業)/SC6(装置及びシステム)との合同 WG である。

4) TC192/JWG15 は IEC/TC5/JMT17(蒸気タービン騒音測定)との合同 WG である。

2.3 国内標準化事業関係

2.3.1 JIS 原案作成関係

1) 2023 年 4 月に JIS 原案作成委員会を設置後、JIS B 8008-2「往復動内燃機関-排気排出物測定-第 2 部:ガス状排出物及び粒子状排出物の搭載状態での測定」について 2024 年 5 月までの作業部会を経て原案作成を行い、2024 年 5 月提出でございいただき、日本規格協会殿へ最終原案を提出した。

委員長: 畔津昭彦(東海大学/日内連参与) 2023 年 12 月 15 日以降

主 査: 芦刈真也(ISO/TC70 日本代表)

委 員: 17 名(委員長、主査含め 中立者 5、使用者 4、生産者 8)

2) 2024 年度の JIS 原案作成事業として、JIS B8008-3、-9、-10(排気煙濃度の測定関連)の 3 件の規格に対応する ISO の構成が見直されており、JIS との相違が生じているため整合を図るべく、現 JIS 規格の改正/廃止を JSA 公募提案した。本提案が承認されたので、2024 年 12 月から JIS 原案作成委員会設置の準備をはじめ、2025 年 2 月に第 1 回原案作成委員会を開催し、2025 年度完成目標で作業を開始した。

2.3.2 日本産業標準調査会 産業機械技術専門委員会(事務局:経済産業省イノベーション・環境局)

日内連から引き続き芦刈特別参与が臨時委員(経済産業大臣任命)として、JIS 規格の新規・改正案の審議・承認に参画した。

第 22 回審議が書面で(2024 年 6 月 21 日)、第 23 回審議が 2025 年 4 月 2 日(Web 会議)にそれぞれ議決された。

2.4 標準化テーマ委託事業

経済産業省の令和 6 年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業に、往復動内燃機関及びガスタービンの将来燃料に対する ISO 規格取り組みを以下のテーマで実施した。本調査により、2.1 項及び 2.2 項の ISO 国際会議に積極的な対応を行い、将来燃料に対して日本のステータスを優位にするよう取り組みを行った。

1) 往復動内燃機関の脱炭素化に関する国際標準化

2) ガスタービンの脱炭素化に対する安全性についての国際標準化

3. International Internal Combustion Engine Manufacturers Association (IICEMA; 国際内燃機関製造者協会) 国際会議

3.1 経緯

2012 年 11 月に EUROMOT の提唱で 5 地域、9 団体(日本からは 3 団体)が参加。第 1 回 IICEMA 国際会議がブリュッセルで開催され、その後 2013 年は中国北京で、2014 年は米国シカゴで、2015 年は東京で開催(主ホスト:陸内協、賛助ホスト:日舶工機関技術委員会、日内連)。2016 年度(第 5 回)はインド プネで開催された。国際会議はこれで参加地域が一巡し、その後 18 か月ごとの輪番で二巡目として 2018 年度(第 6 回)がブリュッセルで、2019 年度(第 7 回)が中国北京で開催された。

MOU (Memorandum of Understanding)

第 3 回会議で本会議の目的や目的の達成方法を明確にすべく、参加している 9 団体が承認・署名した。

I 目的

- ✓ 各協会間の関係強化、及び協会間で興味を表明した内容に関する協力と情報共有の促進。
- ✓ エンジン排気エミッション、燃料、騒音、安全性と燃料効率に関する規制と課題に関して、世界的なポリシー/ポジションの作成。
- ✓ 社会及び環境の利益のための究極的な目的に向けた機関改善を可能とする、調和の取れた排気エミッション計測技術、試験手順、認証規定及び規格、燃料性状仕様の作成及び実行の促進。

II 目的達成方法

- ✓ 目的とゴールを確立するとともに、課題をセットして、全ての参加協会が進行中の活動及び進捗の情報共有化のために、各協会スタッフ代表から構成される運営委員会を設置。
- ✓ 必要に応じて、協会会員専門家の作業グループ(WG)を設置し、規制カテゴリー、課題(例えば試験手順、燃料品質)等を対応。

3.2 IICEMA 運営委員会及びWG活動

2013年シカゴ 会議後、運営委員会及びタスク(WG)活動が、オンライン会議で行われている。

日内連からは、川上雅由が運営委員会に、佐藤純一氏(IHI原動機)が”Stationary” WGのメンバーとしてオンライン会議に参加。その他日本からは、陸内協と日舶工機関技術委員会からの代表がそれぞれのオンライン会議に参加している。

3.3 第8回IICEMA国際会議

2024年5月8-9日にワシントンD.C.(ホスト OPEI(米国屋外動力機械協会))で開催された。

会議では船用機関、定置式陸用機関、機関車と気動車、芝刈り、庭園、ユーティリティ機関、建設、農業及び産業機関について各国から規制などの状況について報告が行われ、活発な質疑が行われた。

また、今回はEPAからも参加者があり、オンロードおよびオフロードのエミッション規制の予定などについてのプレゼンがあり、ハーモナイゼーションに関して、各協会がどのように協力できるのかと言う事についての議論があった。

(注記) EUROMOT(European Association of Internal Combustion Engines Manufacturers)は、IMO (国際海事機関;国が代表で投票権を持つ)への、世界のエンジンメーカーを代表した“Consultative status”を持ち、国際会議での意見書提出と出席ができる立場。
EUROMOTとはIICEMAに参加・貢献をすることにより、特に船用機関関係、陸用機関関係で良い関係を維持している。

4. 技術普及・広報活動事業

4.1 “日内連情報”の刊行

会員及び関係者に対し、関連技術情報、当会の活動状況などを知って頂くために、当会の機関紙として、“日内連情報”を毎年2回刊行し頒布している。

2024 年度には、No.126(8 月)及び No.127(1 月)を刊行した。掲載記事は、次のとおりである。

4.1.1 “日内連情報”No.126(2024 年 8 月号)の主要記事

- I. 日内連第 117 回理事会、第 70 回通常総会報告
 - II. 日内連創立 70 周年特別記念講演会、祝賀会報告
 - III. 2024 年 4 月 CIMAC 評議員会出席報告
 - IV. CIMAC WG 関連
 - IV-I. CIMAC WG2 “船級協会” ハイブリッド国際会議(2024 年 6 月)出席報告
 - IV-II. CIMAC WG4 “クランク軸の規則” ハイブリッド国際会議(2024 年 4 月)出席報告
 - IV-III. CIMAC WG5 “排気排出物の制御” Web 国際会議(2024 年 6 月)出席報告
 - IV-IV. CIMAC WG7 “燃料”コペンハーゲン国際会議(2024 年 4 月)出席報告
 - IV-V. CIMAC WG15 “制御と自動化” ハイブリッド国際会議(2024 年 4 月)出席報告
 - IV-VI. CIMAC WG17 “ガス機関” ハイブリッド国際会議(2024 年 5 月)出席報告
 - IV-VII. CIMAC WG19 “内陸河川船舶” Web 国際会議(2024 年 7 月)出席報告
 - IV-VIII. CIMAC WG20 “システム統合” ウィンターツール国際会議(2024 年 4 月)出席報告
 - IV-IX. CIMAC WG21 “推進装置” ハイブリッド国際会議(2024 年 4 月)出席報告
 - V. ISO 関係
 - V-I. ISO/TC70/SC8/WG6(往復動内燃機関-排気排出物の台上測定)ハイブリッド国際会議(2024 年 1 月)報告
 - V-II. ISO/TC70/WG10(往復動内燃機関-駆動発電装置-電氣的性状)/WG10 Web 国際会議
 - V-III. ISO/TC70/WG14(往復動内燃機関-駆動発電装置-機械的性状)/ Web 国際会議
 - V-IV. ISO/TC192(ガスタービン)オーランド国際会議(2024 年 1 月)出席報告
 - VI 標準化事業活動の概要(2023 年 7 月～2024 年 6 月)
 - VII. IICEMA (International Internal Combustion Engine Manufacturers Association; 国際内燃機関製造者協会)
第 8 回ハイブリッド国際会議(2024 年 5 月)出席報告
 - VIII. 2024 World Internal Combustion Engine Congress (WICE)出席報告
- 事務局通信 Information from JICEF
1. 第 31 回 CIMAC チューリッヒ大会アブストラクト申請状況
 2. 2024 年度第 1 回日内連講演会計画案
 3. 日内連事務所移転について
 4. CIMAC Working Group 国内対応委員会一覧表
 5. 日内連主要行事等一覧

4.1.2 “日内連情報”No.127(2025 年 1 月号)の主要記事

- I. 新年のご挨拶
- II. 2024 年 11 月 CIMAC 評議員会出席報告
- III. 2024 年 8 月 CIMAC 極東 NMA 会議(青島)出席報告
- IV. 2024 年 8 月 CIMAC CASCADES (青島)出席報告
- V. CIMAC WG 関連
 - V-I. CIMAC WG2 “船級協会” ハイブリッド国際会議(2024 年 12 月)出席報告
 - V-II. CIMAC WG4 “クランク軸の規則” ハイブリッド国際会議(2024 年 10 月)出席報告
 - V-III. CIMAC WG5 “排気排出物の制御” フランクフルト国際会議(2024 年 12 月)出席報告
 - V-IV. CIMAC WG7 “燃料”アムステルダム国際会議(2024 年 10 月)出席報告
 - V-V-I. CIMAC WG8 “船用潤滑油” 国内対応委員会(2024 年 10 月)開催報告
 - V-V-II. CIMAC WG8 “船用潤滑油” フランクフルト国際会議(2024 年 12 月)出席報告
 - V-VI. CIMAC WG15 “制御と自動化”フランクフルト国際会議(2024 年 12 月)出席報告
 - V-VII. CIMAC WG17 “ガス機関” ハイブリッド国際会議(2024 年 11 月)出席報告
 - V-VIII. CIMAC WG19 “内陸河川船舶” Web 国際会議(2024 年 12 月)出席報告

V-IX. CIMAC WG20“システム統合” ハイブリッド国際会議(2024 年 12 月)出席報告

V-X. CIMAC WG21“推進装置” Web 国際会議(2024 年 11 月)出席報告

VI. ISO 関係

VI-I. ISO/TC70/WG2(往復動内燃機関の用語及び定義)、ISO/TC70(往復動内燃機関) Plenary Meeting

VI-II. ISO/TC70/SC7(往復動内燃機関-潤滑油ろ過器試験)/WG8 ロンドン国際会議(2024 年 10 月)出席報告

VI-III. ISO/TC70/SC8/WG6(往復動内燃機関-排気排出物の台上測定)ハイブリッド国際会議(2024 年 7 月)報告

VI-IV. ISO/TC70/SC8/WG6(往復動内燃機関-排気排出物の台上測定)ハイブリッド国際会議(2024 年 10 月)報告

VI-V. ISO/TC70/WG10(往復動内燃機関-駆動発電装置-電気的性状) Web 国際会議

VII. 標準化事業活動の概要(2024 年 7 月～2024 年 12 月)

VIII. 2024 年 8 月 2024 潤滑技術大会出席報告

IX. ロストック大学内燃機関研究室訪問記

事務局通信

1. 日内連事務所移転

2. 2024 年度第一回日内連講演会案内

3. 第 31 回 CIMAC チューリッヒ大会情報

4. CIMAC Working Group 国内対応委員会一覧表

5. 日内連主要行事等一覧

4.2.1 2024 年度第 1 回講演会 Webinar (合計出席者数:91 名)

開催日: 2025 年 2 月 25 日(火)

テーマ: “内燃機関の将来燃料取り組みの動向”

– LNG 燃料焚きメタンスリップ低減を含めた将来燃料対応と ISO 排気エミッション計測規格改定の最新動向 –
講演題目(時間) 講演者(敬称略)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1) 船用 LNG エンジンのメタンスリップ削減に関する取り組み
(10:20～10:55) | 折野 和昭(ヤンマーパワーテクノロジー) |
| 2) 触媒技術による LNG 燃料船からのメタンスリップ削減の取り組み
(10:55～11:30) | 西田 侑介(カナデビア) |
| 3) 三井 E&S の二元燃料エンジンと燃料供給装置の取組状況について
(12:30～13:05) | 門田 楊子(三井 E&S) |
| 4) 脱炭素燃料エンジンの開発状況について (13:05～13:40) | 柳 潤(ジャパンエンジンコーポレーション) |
| 5) 川崎重工の水素エンジンの開発状況について (13:40～14:15) | 酒井 能成(川崎重工業) |
| 6) ISO 排気エミッション計測規格改定の最新動向(前編) (14:15～14:50) | 茶屋 達也(小松製作所) |
| 7) ISO 排気エミッション計測規格改定の最新動向(後編) (14:50～15:25) | 西川 雅浩(堀場製作所) |
| 8) IHI 原動機の GHG 削減に向けた取組状況 (15:45～16:20) | 永澤 秀明(IHI 原動機) |
| 9) GHG 削減技術の開発状況 (16:20～16:55) | 花本 健一(ダイハツディーゼル) |

5. 日内連運営関係及び一般事項

5.1 第 117 回理事会・第 70 回通常総会開催

2024 年の第 117 回理事会および第 70 回通常総会が 7 月 2 日(火)日本工業倶楽部において、13:30 より開催され、以下の議案の件は、全て原案通り承認・可決された。

5.1.1 議案

第1号議案 2023 年度事業報告案の承認に関する件

第2号議案 2023 年度収支決算案の承認に関する件

第3号議案 2024 年度事業計画案の承認に関する件

第4号議案 2024 年度収支予算案の承認に関する件

第5号議案 会員復会・退会承認の件

第6号議案 副会長退任・新任副会長選任の件

5.1.2. 議案の概要

1) 2023 年度事業報告・決算

① 前年に引き続き、CIMAC 関連事業(CIMAC 評議員会出席、各WG出席、他)、ISO、JIS などの標準化関連事業、講演会などの技術普及広報事業を 3 本の柱として行った。

② 決算報告は監査役を代表し(一社)日本船主協会 大森監事により適正かつ妥当であるとの監査結果が報告され、承認された。

2) 2024 年度事業計画・予算

① 2024 年度も引き続き、CIMAC 関連事業(CIMAC 評議員会、各WG出席、他)、ISO、JIS、経済産業省の「令和6年度に実施すべき標準化テーマ等に関する調査」事業などの標準化関連事業、講演会などの技術普及、及び広報事業を 3 本の柱と

して行う。

② 前記活動の予算案が承認された。

3) 会員復会・退会承認の件

休会中のエイヴィエルジャパン株式会社の復会及び東京ガス株式会社の退会が承認された。

4) 副会長退任・新任副会長選任の件

法人団体退会による理事・副会長及び辞退による理事・副会長による理事・副会長退任、及び新任副会長が承認された。

5.1.3 報告事項の件

報告事項及び一般報告事項として、以下が説明された。

1) 会員復会・退会の報告

・エイヴィエルジャパン株式会社の復会を第 117 回理事会で承認

・東京ガス株式会社の退会を第 117 回理事会で承認

2) 副会長退任・新任副会長選任の報告

・理事・副会長の株式会社 IHI 山田 剛氏、株式会社 IHI 原動機 高橋 伸輔氏、東京ガス株式会社 若狭 匡輔氏が退任

・理事のダイハツディーゼル株式会社 早田 陽一氏が副会長に就任

3) 任期途中の副会長交代の件

東芝エネルギーシステムズ株式会社の理事・副会長が藤塚 真也氏から松下 丈彦氏に交代

4) CIMAC・IICEMA 関連事項報告の件

① 春の CIMAC 評議員会

2024 年 4 月 19 日に開催された CIMAC 評議員会概要について説明

② 2024 WICE 出席報告

2024 年 4 月 19 日～22 日に中国・天津で開催された 2024 World Internal Combustion Engine Congress 概要について説明

③ 第 8 回 IICEMA 国際会議報告

2024 年 5 月 8 日～9 日に米国・ワシントン D.C.で開催された第 8 回 IICEMA 国際会議概要について説明

5) 2024 年度日内連講演会計画について

2024 年度日内連講演会が 2024 年後半に「DF・ガス機関のメタンスリップ、将来燃料取り組みの動向(仮)-LNG 燃料焚きメタンスリップ、将来燃料対応の最新動向(仮)-」で予定されている旨説明

6) その他(事務所移転の件)

日内連事務所が 2024 年末までに移転の旨説明

5.2 日内連 創立 70 周年記念行事

理事会・通常総会に引き続き、日内連 70 周年記念式典関係の諸行事が、日本工業倶楽部において開催された。

【特別記念講演会】

理事会・総会の会場となった大会堂において、15:30 より、“脱炭素の課題を克服する 2050 年以降の内燃機関”をテーマとした記念特別講演会が高畑会長の開会のあいさつに引き続き開催された。

最初のご講演は“将来の船用燃料の燃焼基礎研究”と題して九州大学名誉教授/日内連参与の高崎 講二先生から過去 10 回の CIMAC 大会で発表した論文の内容を中心に、基礎研究にも国際競争があり、これらの研究成果をもとに、さらに将来燃料について取り組んでいる内容や新エネルギー・産業技術総合開発機構のグリーンイノベーション基金事業として進められている水素燃料エンジン・アンモニア燃料エンジンの開発状況についても話された。最後に、脱炭素を克服する内燃機関に日本の基礎研究が世界に貢献することを願っていると締めくくられた。

引き続き、東京大学名誉教授の渡辺 紀徳先生が“脱炭素社会に向かうガスタービンの展望”と題して、国内での水素燃焼ガスタービンやアンモニア燃焼ガスタービンの開発動向、航空用ジェットエンジンの次世代燃料や脱炭素推進システムについてご講演され、最終的にはガスタービンが二酸化炭素を排出しないクリーンな原動機に向かっていく内容のご講演が行われた。

講演会には、約 120 人の方々が講師の興味深い話に耳を傾けた。往復動内燃機関およびガスタービンの脱炭素内燃機関の実現に向けて、非常に困難な課題ではあるものの日内連会員の皆様の情報共有化などを行い、CIMAC や標準化活動を積極的に行い、日本のプレゼンス向上を示す時期であることが再確認されたご講演であった。

【祝賀会】

記念特別講演に引き続き、場所を 3 階大ホールに移し、祝賀会が開催された。祝賀会は高畑会長の挨拶の後、米澤前会長の乾杯の発声により開始された。

CIMAC 会長 Rick Boom 氏、ISO/TC70:往復動内燃機関 Chairman Wu Xuling 氏、TC192:ガスタービン Chairman George Langton 氏からの祝辞が紹介された後、これまで日内連の活動を支えていただいた功労者の表彰が行われた。

以下に今回功労者として表彰された方々のお名前と功績の内容を紹介いたします。(敬称略)

【感謝状表彰者】

雨森 浩一 第8代会長

浅野 雄一 第9代会長

蓑田 慎介	第10代会長
相馬 和夫	第11代会長
米澤 克夫	第12代会長
川口 修	日内連参与、ISO/TC192 国内審議委員会委員長兼ガスタービン JIS 原案作成委員会委員長
高崎 講二	日内連参与
田山 経二郎	日内連参与、元常務理事、元 CIMAC 副会長
伊藤 恭裕	日内連参与、第 20 代 CIMAC 会長
山田 知夫	日内連参与、前専務理事
鈴木 章夫	前日内連特別参与(標準化担当)

更に実務面で日内連活動を積極的に支えていただいた功労者が表彰されました。以下の方々です。(敬称略)

[実務功労表彰者]

山田 淳司	三井 E&S	CIMAC 関係
塙 洋二	神戸製鋼所	CIMAC 関係
宮野 春雄	日本油化工業	CIMAC 関係
竹田 充志	日本油化工業	CIMAC 関係
西尾 澄人	海上技術安全研究所	CIMAC 関係
佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー	CIMAC 関係
芦刈 真也	小松製作所	ISO/TC70、JIS 原案作成、講演会
西川 雅浩	堀場製作所	ISO/TC70
江草 隆志	堀場製作所	JIS 原案作成
安田 耕二	元日立製作所	ISO/TC192、JIS 原案作成
田中 良造	川崎重工業	ISO/TC192
伊東 正雄	東芝エネルギーシステムズ	ISO/TC192

なお、70周年記念式典に以下の法人会員から協賛いただいた。

株式会社 赤阪鐵工所	井関農機株式会社
インフィニウムジャパン株式会社	株式会社 ウッズ
川崎汽船株式会社	川崎重工業株式会社
株式会社 クボタ	株式会社 神戸製鋼所
株式会社 小松製作所	株式会社 商船三井
株式会社 ジャパンエンジンコーポレーション	大同メタル工業株式会社
ターボシステムズユナイテッド株式会社	ダイハツディーゼル株式会社
東亜工機株式会社	東芝エネルギーシステムズ株式会社
ナブテスコ株式会社	一般財団法人 日本海事協会
日本郵船株式会社	日本油化工業株式会社
日立造船マリンエンジン株式会社	富士電機株式会社
株式会社 堀場製作所	株式会社 マキタ
マンエナジーソリューションズジャパン株式会社	株式会社 三井 E&S
株式会社 三井 E&S DU	三菱化工機株式会社
三菱重工業マリンマシナリ株式会社	三菱重工業株式会社
ヤンマーパワーテクノロジー株式会社	他

日内連では、創立 70 周年を記念して、“日内連 70 年史”と題して、日本内燃機関連合会の状況、CIMAC 関連事業、ISO 関連事業、法人会員にご執筆いただいた“各社の 2005 年以降の動向または往復動内燃機関及びガスタービンの発展と今後の展望”、日内連 40 年史以降の日内連主要活動年表、日本内燃機関連合会の活動日程表をまとめたものを刊行した。

5.3 運営委員会の開催

会長、副会長、専務理事、並びに内燃機関標準化委員会委員長、CIMAC の役員・役職者、及び事務局が出席して、年 2 回日内連運営委員会を開催し(2024 年度は 2024 年 6 月と 2025 年 2 月に対面で実施)、当会の運営についての方針及び基本的事項等について、決定または承認を行った。

5.3.1 6 月の運営委員会(第 173 回)

- 1) 日時: 2024 年 6 月 10 日(月)14:00~16:30
- 2) 場所: 株式会社三井 E&S 本社(浜離宮三井ビルディング) 2階 Room23

3) 出席者: 委員 6 名が出席

4) 主要議事項目:

- ① 日内連 70 周年記念事業準備関係進捗状況の件
- ② 会員動静の件
- ③ 2023 年度決算報告(案)と 2024 年度予算計画(案)の件
- ④ 2023 年度事業報告(案)と 2024 年度事業計画(案)の件
- ⑤ 標準化関係(ISO、JIS、委託事業)報告の件
- ⑥ CIMAC(春の CIMAC 評議員)・IICEMA 国際会議関係報告の件
- ⑦ 日内連講演会(2024 年度第 1 回日内連講演会計画案)報告の件
- ⑧ その他(第 117 回理事会及び第 70 回通常総会準備状況、70 周年記念式典当日の現地お手伝いのお願い、事務所移転関係)

5.3.2 2 月の運営委員会(第 174 回)

1) 日時: 2025 年 2 月 4 日(火)14:00~16:30

2) 場所: 日本内燃機関連合会事務所 NIT 築地ビル 2 階 203 会議室

3) 出席者: 委員 7 名が出席

4) 主要議事項目:

- ① 2025 年度以降会長の件
- ② 定款改訂の件
- ③ 会員動静の件
- ④ 2024 年度一般会計・国際会議会計収支の現状報告の件
- ⑤ 日内連 70 周年記念事業経理結果報告の件
- ⑥ 事務所移転結果報告の件
- ⑦ CIMAC 関係(秋の CIMAC 評議員会、CIMAC 極東 NMA 会議、CIMAC WG 国内対応委員会体制)報告の件
- ⑧ 標準化関係(ISO、JIS、委託事業および標準化対応体制)報告の件
- ⑨ 日内連講演会(2024 年度第 1 回日内連講演会(ウェビナー))報告の件
- ⑩ 2025 年度 予算執行方針案報告の件

6. 会員数の状況

2024 年度 期末時点での会員数は以下の通り。

- ・法人会員(休会を除く) : 48 社
- ・団体会員 : 17 賛助団体、4 学術団体
- ・2023 年度末からの増減、法人 増減なし、賛助団体 増減なし

日内連主要行事等一覧
[2024年4月～2025年3月実績]

2025年3月31日現在

区分 ○: 日内連行事等(国内)
●: 日内連行事等(海外)

◇: CIMAC関係(国内)
◆: CIMAC関係(海外)

☆: 標準化関係(国内)
★: 標準化関係(海外)

2024年

年-月-日(自/至)	区 分						主な出来事(行事・会議等の名称)	開催場所	参加者等	摘 要
	○	●	◇	◆	☆	★				
04-03			◇				CIMAC WG15 "Controls and Automation"国内対応委員会	Web会議		
04-10						★	ISO/TC70/WG14国際会議	Web会議	杉本 竜大他	ダイハツディーゼル
04-10/11				◆			CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	ヨーテリ/スウェーデン	塙 洋二	神戸製鋼
04-16/18				◆			CIMAC WG7 "Fuels"国際会議	コペンハーゲン/デンマーク	竹田 充志	日本油化
04-16				◆			CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	アウグスブルグ/ドイツ	川瀬 貴章	ナブテスコ
04-16/17				◆			CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	ハイブリッド デルーネン/オランダ	畑本 拓郎他	IHI原動機
04-25/05-21	○						会計監査	書面監査		
04-18				◆			CIMAC役員会	天津/中国	高畑 泰幸	ヤンマーパワーテクノロジーズ
04-19				◆			CIMAC評議員会	天津/中国	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジーズ
04-20/22		●					中国2024世界内燃機関大会	天津/中国	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジーズ
04-24					☆		JIS原案作成委員会	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
04-24				◆			CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	ウィンターツール/スイス	廣仲 啓太郎	IHI原動機
05-08/09		●					ICEMA(国際内燃機関製造社協会)国際会議(ホスト国:米国)	ワシントンD.C./米国	川上 雅由	日内連
05-14				◆			CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	ハイブリッド デッサオ/ドイツ		
06-06					☆		ISO/TC192水素燃料安全性分科会関係者会議			
06-10	○						日内連第173回運営委員会	三井E&S/東京		
06-11					☆		ISO/TC70及びISO/TC70/SC8国内審議委員会	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
06-12/13				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	Web会議	佐藤 純一	IHI原動機
06-13				◆			CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	ヨーテリ/スウェーデン	西崎 宏美	三井E&S
06-27						★	ISO/TC70/WG14国際会議	Web会議	杉本 竜大他	ダイハツディーゼル
07/02	○						日内連第117回理事会・第70回通常総会 日内連70周年記念事業(特別記念講演会・祝賀会)	日本工業倶楽部会館/ 東京		
07-02/04						★	ISO/TC70/SC8/WG6国際会議	フランクフルト/ドイツ	茶屋 達也他	小松製作所
07-09			◇				CIMAC WG7 "Fuels"国内対応委員会	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
07-10				◆			CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	Web会議	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジーズ
07-23					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同会議	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
07-23						★	ISO/TC70/WG10国際会議	Web会議	鈴鹿 廣志	IHI原動機
07-26					☆		ISO/TC70及びISO/TC70/SC8国内審議委員会	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
07-31					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国内準備会議	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		
08-14/15				◆			CIMAC CASCADES	青島/中国	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジーズ
08-15/16				◆			CIMAC極東NMA会議	青島/中国	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジーズ
08-17/18		●					中国2024潤滑技術大会	青島/中国	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジーズ
08-20	○						日内連情報No.126発刊			
08-27						★	ISO/TC70/SC7国際会議	Web会議	竹内 智彦	トヨタ紡織
08-29					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国内準備会議	ハイブリッド 日内連事務所/ 東京		

区分 ○: 日内連行事等(国内)

◇: CIMAC関係(国内)

☆: 標準化関係(国内)

●: 日内連行事等(海外)

◆: CIMAC関係(海外)

★: 標準化関係(海外)

年-月-日(自/至)	区 分						主な出来事(行事・会議等の名称)	開催場所	参加者等	摘 要
	○	●	◇	◆	☆	★				
10-09						★	ISO/TC70/SC7/WG8国際会議	ロンドン/英国	竹内 智彦	トヨタ紡織
10-09				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	Web会議	佐藤 純一	IHI原動機
10-12			◇				CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国内対応委員会	Web会議		
10-15					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国内準備会議	ハイブリッド 日内連事務所/東京		
10-16/17				◆			CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	ハイブリッド エリー/米国	塙 洋二	神戸製鋼
10-17					★		ISO/TC70/WG13国際会議	Web会議		
10-22			◇				CIMAC WGs国内主査会議	Web会議		
10-22					★		ISO/TC70/WG2国際会議	ハイブリッド パリ/フランス	芦刈 真也	日内連
10-22/24					★		TC70/SC8及びSC8/WG6国際会議	ハイブリッド パリ/フランス	茶屋 達也他	小松製作所
10-24					★		ISO/TC70/WG10国際会議	ハイブリッド パリ/フランス	鈴鹿 廣志	IHI原動機
10-25					★		ISO/TC70国際会議	ハイブリッド パリ/フランス	畔津 昭彦 他	東海大学
10-29/31				◆			CIMAC WG7 "Fuels"国際会議	アムステルダム/オランダ	大内 隆彰	商船三井
10-31			◇				CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国内対応委員会	ハイブリッド 日内連事務所/東京		
11-04				◆			CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	ハイブリッド ゼント/ベルギー	壽 和輝	ヤンマーパワーテクノロジー
11-05				◆			CIMAC役員会	フランクフルト/ドイツ	高畑 泰幸	ヤンマーパワーテクノロジー
11-06				◆			CIMAC評議員会	フランクフルト/ドイツ	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジー
11-06				◆			CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	Web会議	進士 禎一郎	川崎重工業
11-12			◇				CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国内対応委員会	Web会議		
11-19				◆			CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	Web会議	鈴鹿 廣志	IHI原動機
11-28			◇				CIMAC WG15 "Controls and Automation"国内対応委員会	Web会議		
12-10					☆		ISO/TC70国内審議委員会	ハイブリッド 日内連事務所/東京		
12-10					★		ISO/TC70/SC8/WG6国際会議	Web会議	茶屋 達也他	小松製作所
12-10				◆			CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	未定	西崎 宏美	三井E&S
12-11/12				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	フランクフルト/ドイツ	佐藤 純一	IHI原動機
12-12					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同会議	ハイブリッド 日内連事務所/東京		
12-12				◆			CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	フランクフルト/ドイツ	川瀬 貴章	ナブテスコ
12-12/13				◆			CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	フランクフルト/ドイツ	太田 潤	ダイハツディーゼル
12-18				◆			CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	Web会議	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー
12-25					☆		ISO/TC70/SC8国内審議委員会	ハイブリッド 日内連事務所/東京		

2025年

01-20	○						日内連情報No.127発刊			
02-03					☆		JIS作成委員会	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
02-04	○						日内連第174回運営委員会	日内連事務所/東京		
02-06					★		ISO/TC70/SC8/WG6国際会議	Web会議	茶屋 達也他	小松製作所
02-17					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同会議	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
02-18					★		ISO/TC70/WG14国際会議	Web会議	芦刈 真也他	日内連
02-25	○						2024年度第1回日内連講演会	ウェビナー		
02-27			◇				CIMAC WG17 "Gas Engines"国内対応委員会	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
03-03					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国内準備会議	日内連事務所/東京		

区分 ○: 日内連行事等(国内) ◇: CIMAC関係(国内) ☆: 標準化関係(国内)
 ●: 日内連行事等(海外) ◆: CIMAC関係(海外) ★: 標準化関係(海外)

年-月-日(自/至)	区 分						主な出来事(行事・会議等の名称)	開催場所	参加者等	摘 要
	○	●	◇	◆	☆	★				
03-12					☆		ISO/TC70国内審議委員会	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
03-13					☆		野村総合研究所標準化委託事業現地調査	日内連事務所/東京		
03-14					☆		ISO/TC70/SC8国内審議委員会	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
03-18			◇				CIMAC WGs国内主査会議	ハイブリッド会議 日内連事務所/東京		
03-18						★	ISO/TC70/WG14国際会議	Web会議	杉本 竜大他	ダイハツディーゼル
03-25				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	Web会議	佐藤 純一	IHI原動機
03-27					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国内準備会議	日内連事務所/東京		

[第2号議案]

2024年度 一般会計収支決算書

2025年3月31日
日本内燃機関連合会
(単位: 円)

項 目	予算額 (A)	決算額(B)	差異 (B-A)	備 考
前年度繰越金	38,085,288	38,085,288	0	
会費収入				
団体会員	1,477,000	1,477,000	0	
A法人会員	9,210,000	8,917,500	-292,500	
B法人会員	3,596,000	4,216,000	620,000	
C法人会員	14,500,000	14,500,000	0	
小計	28,783,000	29,110,500	327,500	
委託金・補助金収入				
標準化関係	8,439,881	5,827,657	-2,612,224	
出張旅費補助	0	0	0	
小計	8,439,881	5,827,657	-2,612,224	
70周年記念事業積立戻し	2,010,000	2,010,000	0	
事務所移転費予備費戻し	3,500,000	3,500,000	0	
雑 収 入	1,900,000	3,054,354	1,154,354	
収入の部 (除く 繰越金) 合計	44,632,881	43,502,511	-1,130,370	
収入の部 (含む 繰越金) 合計	82,718,169	81,587,799	-1,130,370	
事業費				
会議費	700,000	432,648	-267,352	
印刷費	70,000	36,884	-33,116	
消耗品費	150,000	138,385	-11,615	
旅費・交通費	800,000	533,015	-266,985	
通信費	590,000	739,110	149,110	
CIMAC会費	2,690,000	2,679,362	-10,638	EUR 16,100
会費	550,000	531,000	-19,000	
調査費	200,000	206,465	6,465	
日内連情報刊行費	850,000	898,678	48,678	
雑費	3,400,000	3,495,522	95,522	
小計 (事業費Ⅰ)	10,000,000	9,691,069	-308,931	
CIMAC WG国際会議等	1,600,000	1,707,089	107,089	
CIMAC役員会・評議委員会	1,000,000	1,509,898	509,898	
ISO TC70国際会議	200,000	759,163	559,163	
ISO TC192国際会議	0	17,665	17,665	
日内連70周年積み立て	2,710,000	2,412,608	-297,392	
小計 (事業費Ⅱ)	5,510,000	6,406,423	896,423	
委託事業・旅費	6,638,914	4,606,692	-2,032,222	
委託事業・会議費	125,981	44,595	-81,386	
委託事業・印刷製本費	0	0	0	
委託事業・諸経費	977,476	74,775	-902,701	
小計 (事業費Ⅲ)	7,742,371	4,726,062	-3,016,309	
小計 (事業費Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ)	23,252,371	20,823,554	-2,428,817	
管理費				
借室料	4,000,000	3,935,860	-64,140	
水道光熱費	450,000	371,457	-78,543	
器具備品費	1,350,000	1,530,396	180,396	
事務所移転費	3,500,000	2,104,276	-1,395,724	
小計	9,300,000	7,941,989	-1,358,011	
人件費				
給料手当	11,000,000	10,864,800	-135,200	
退職手当積立金	1,100,000	1,100,000	0	
福利厚生費	2,050,000	1,248,398	-801,602	
小計	14,150,000	13,213,198	-936,802	
計	46,702,371	41,978,741	-4,723,630	
予備費	36,015,798	0	-36,015,798	
		0	0	
支出の部合計	82,718,169	41,978,741	-40,739,428	
収支差額 (次年度繰越金)		39,609,058		

上記決算書は、正確かつ妥当であることを認める。

2025年5月14日

監事

一般社団法人 日本船主協会
常務理事・海務部長 平 尾 真 二



日立造船マリンエンジン株式会社
代表取締役社長 竹 中 俊 哉



(2) 2024 年度 国際会議開催関連決算書

2024年度 日内連国際会議開催関連会計決算書

2025年3月31日
日本内燃機関連合会

(単位:円)

前年度繰越金	2,419,174
《収入の部》	
2024年度雑収入(利息)	1,131
合計	2,420,305
《支出の部》	
	0
合計	0
収支差額(次年度への繰越金)	<u>2,420,305</u>

上記決算書は、正確かつ妥当であることを認める。

2025年5月10日

監事

一般社団法人 日本船主協会

常務理事・海務部長 平 尾 真 二



日立造船マリンエンジン株式会社

代表取締役社長 竹 中 俊 哉



貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(1) 一般会計

(単位:円)

資 産 の 部		2025年3月末	2024年3月末	増 減
流動資産	現金	97,984	162,966	-64,982
	普通預金	12,190,426	18,500,612	-6,310,186
	定期預金	26,300,000	26,300,000	0
	郵便振替	280,931	225,181	55,750
	前払費用	736,512	277,953	458,559
	立替金	0	0	0
	商品勘定	0	0	0
	未収入金	0	0	0
計		39,605,853	45,466,712	-5,860,859
固定資産	退職給与引当特定預金	14,380,179	13,280,179	1,100,000
	差し入れ保証金	2,944,740	1,524,800	1,419,940
	計	17,324,919	14,804,979	2,519,940
合 計		56,930,772	60,271,691	-3,340,919

負債および繰越金の部		2025年3月末	2024年3月末	増 減
負債	預り金	2,941,535	3,251,784	-310,249
	未払金	0	144,440	-144,440
	退職給与引当金	14,380,179	13,280,179	1,100,000
	事務所移転・整備金	0	3,500,000	-3,500,000
	記念事業積立金	0	2,010,000	-2,010,000
	国際会議開催準備積立金	0	0	0
計		17,321,714	22,186,403	-4,864,689
繰越金	前年度繰越金	38,085,288	37,272,395	812,893
	当年度収支差額	1,523,770	812,893	710,877
	計(次年度繰越金)	39,609,058	38,085,288	1,523,770
合 計		56,930,772	60,271,691	-3,340,919

2025 年度 事業計画書

日本内燃機関連合会

日本内燃機関連合会は、CIMAC(国際燃焼機関会議)関係事業、標準化事業及び技術普及・広報活動事業の3つの事業を中心に、2025 年度も活動を行っていく。

1. CIMAC(国際燃焼機関会議)関係事業

CIMAC(国際燃焼機関会議)関係事業では、日本の内燃機関分野が世界の中で非常に重要な位置を占めてきていることに鑑み、当会の特色を生かしながら、日本からの働きかけを積極的に行うと共に、国際的事業への対応をさらに活性化する。

特に、「CIMAC 極東 NMA 会議」他を通し「極東地区の CIMAC 活動の活性化」のために、積極的に活動していく。

1.1 CIMAC 役員会・評議員会等

1.1.1 役員会・評議員会等の日本の役職者

日本からは、2025 年 4 月 1 日現在、CIMAC の各役職に次の委員が就任している(敬称略)。

CIMAC 副会長(役員)	高畑 泰幸(ヤンマーパワーテクノロジー)
CIMAC 評議員	宮地 健(三井 E&S)
CIMAC 評議員	川上 雅由(日本内燃機関連合会)

1.1.2 役員会・評議員会・極東会議への出席

CIMAC 評議員会は、2025 年度に 2 回開催される予定であり、これに次のように出席する。本年度は春に CIMAC チューリッヒ大会前日及び秋(開催方法未定)に開催される。

また、「第 12 回 CIMAC 極東会議(日・中・韓)」は CIMAC CASCADES と同時期に韓国で秋に開催される未定である。

評議員会等の開催予定及び日本からの予定出席者は、次のとおりである(敬称略)。

開催年月日(予定)	開催場所(予定)	会議名	日本からの出席予定者
2025 年 5 月 18 日	スイス チューリッヒ	CIMAC 役員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー)
2025 年 5 月 18 日	スイス チューリッヒ	CIMAC 評議員会	高畑 泰幸 CIMAC 副会長 (ヤンマーパワーテクノロジー) 宮地 健 CIMAC 評議員(三井 E&S) 川上 雅由 CIMAC 評議員(日内連)
2025 年 11 月 20 日	オンライン	CIMAC 役員会	川上 雅由 CIMAC 副会長(日内連)
2025 年 11 月 20 日	オンライン	CIMAC 評議員会	宮地 健 CIMAC 評議員(三井 E&S) 未定

1.2 CIMAC チューリッヒ大会関係

第 31 回 CIMAC 大会が 2024 年 5 月 19 日～23 日(月～金) スイス・チューリッヒ市で開催される。日内連からは 2 名参加予定。

日内連事務局から CIMAC チューリッヒ大会の詳細情報を入手次第、会員及び関係者と情報の共有化を図り、日本の CIMAC におけるステータス向上に貢献する。また、本大会の結果については日内連講演会で報告会を計画し、CIMAC に関する最新動向について情報の共有化を図る。

1.3 CIMAC WG(作業グループ)関係

1.3.1 CIMAC WG の活動

a) CIMAC WG

CIMAC WG 活動は、CIMAC の中で CIMAC 大会に次ぐ重要な活動であり、現在活発に活動中の CIMAC WG は 11 ある。これらの各 WG には、日本の代表委員を登録して活動を進めている。また、国内では従来通り、対応する国内対応委員会を中心に国内での審議を積極的に行い、国際会議にできる限り出席して、国内での審議結果を日本の意見として国際会議に反映させていく。なお、WG10 にユーザーが設置されているが、非公開の活動のため国内の日内連会員である船社 3 社に対応をお願いしている。

b) 国内での CIMAC WG の活動

従来通り、日内連で運営・審議する国内対応委員会において、国内対応委員会主査(日内連代表としての CIMAC WG メンバー)及び国内対応委員会メンバーで審議を行い、国際会議に反映していく。

国内対応委員会の審議及び国際会議への代表者派遣については、関係の諸団体及び会員会社から深いご理解とご協力を引き続きお願いしたい。

また、従来通り必要に応じ、開催地に近い各社海外事務所の駐在員の方にも会議出席をお願いしていく。

WG19“Inland Waterway Vessels”及び WG20“System Integration”の国内対応委員会は、当面単独の委員会は立ち上げずに関連する現存委員会の中で対応していく。また、WG21“Propulsion”は、検討項目次第で、メールベースで当面对応するとともに、IMO(国際海事機関)で審議中の案件に対応すべく、日本船舶技術研究協会の推進・操舵装置検討会の委員として日本船用工業会のご協力を得ながら活動する。

1.3.2 CIMAC WG 国際会議の開催予定

CIMAC WG 国際会議の開催予定及び日本からの出席予定者で、5 月末現在決まっているものは、次のとおりである(敬称略)。現在はほとんどの国際会議が対面会議またはハイブリッド会議での開催となっている。現在までの開催方式の状況を踏まえると、現地参加のほうで収集できる情報量、休憩時間などのロビー活動等、日本の意見を採用してもらうためには現地参加が好ましい状況であった。Web 会議では開催時間の関係から回数が増加傾向であったが、2024 年度も引き続き対面会議またはハイブリッド会議での開催が主体になると推測するが、国際会議開催情報を確実に入手、対応していく。

開催年月日(予定)	開催場所(予定)	WG会議名	日本からの出席予定者
2025 年			
4 月 8 日	ザルツブルグ/オーストリア	CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	鈴鹿 廣志(IHI 原動機)
5 月 12/13 日	ザルツブルグ/オーストリア	CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	塙 洋二(神戸製鋼)
5 月 16 日	エルサウ/スイス	CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	壽 和輝 (ヤンマーパワーテクノロジー)
5 月 21 日	チューリッヒ/スイス	CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	川瀬 貴章(ナブテスコ)
5 月(CIMAC 大会 期間中)	チューリッヒ/スイス	CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	佐々木 慶典 (ヤンマーパワーテクノロジー)
5 月 26/27 日	エルサウ/スイス	CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	佐藤 純一(IHI 原動機)
5 月(未定)	パリ/フランス	CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	西崎 宏美(三井 E&S)
未定	未定	CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	進士 禎一郎(川崎重工業)
6 月 11/12 日		CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	下川 啓介 (ダイハツディーゼル)
9 月(未定)	バーサ/フィンランド	CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	川瀬 貴章(ナブテスコ)
10 月 7/8 日	未定	CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	塙 洋二(神戸製鋼)
未定(秋の会議)	ウィーン/オーストリア	CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	西崎 宏美(三井 E&S)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	佐藤 純一(IHI 原動機)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG7 "Fuels"国際会議	竹田 充志(日本油化工業)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	下川 啓介 (ダイハツディーゼル)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	壽 和輝 (ヤンマーパワーテクノロジー)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	佐々木 慶典 (ヤンマーパワーテクノロジー)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	鈴鹿 廣志(IHI 原動機)
未定(秋の会議)	未定	CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	進士 禎一郎(川崎重工業)

1.3.3 CIMAC WG(作業グループ)と日本対応の国内委員会

(2025-04-01) 日本内燃機関連合会

CIMAC(国際燃焼機関会議)

日本からの役職者

会長 Rick Boom (Woodward, Netherlands)
 事務局長 Peter Müller-Baum (CIMAC, Germany)
 WG 担当副会長 Gunnar Stiesch (MAN E.S., Germany)
 WG 担当副会長 Charlotte Røjgaard (Bureau Veritas)
 CIMAC 副会長(役員) 高畑泰幸(ヤンマーパワーテクノロジー) / Y. Takahata
 評議員 宮地健(三井 E&S) / K. Miyachi
 評議員 川上雅由(日内連) / M. Kawakami
 主査会議議長: ヤンマーパワーテクノロジー 高畑泰幸 特機事業部・顧問
 事務局: 日本内燃機関連合会 川上 雅由 専務理事

WG No.	WG Title, Chairman,	国内対応委員会	国内委員会 主査	備 考
02	WG: Classification (船級協会) C.O. Rasmussen (MAN E.S./ Denmark)	日内連 WG2 対応国内委員会 JICEF WG2 committee	西崎 宏美 H. Nishizaki (三井 E&S)	
04	WG: Crankshaft Rules (クランク軸の規則) T. Frondelius (Wärtsilä/ Finland)	日内連 WG4 対応国内委員会 JICEF WG4 committee	平尾 健一郎 K. Hirao (神戸製鋼)	
05	WG: Exhaust Emission Control (排気排出物の制御) D. Peitz (Hug Eng./Switzerland)	日内連 WG5 対応国内委員会 JICEF WG5 committee	佐藤 純一 J. Sato (IHI 原動機)	
07	WG: Fuels (燃料油) B. Rozmyslowicz (WinGD/ Switzerland)	日内連 WG7 対応国内委員会 JICEF WG7 committee	竹田 充志 A. Takeda (日本油化)	
08	WG: Marine Lubricants (船用潤滑油) D. Jacobsen (Ms) (MAN E. S. / Denmark)	日内連 WG8 対応国内委員会 JICEF WG8 committee	下川 啓介 K. Shimokawa (ダイハツディーゼル)	
10	WG: Users (非公開) (ユーザー) E. Boletis (Enarete Marine BV/ The Netherlands)	(船社が個々に対応)		日本船社3社
15	WG: Controls and Automation (制御と自動化) F. Ostman (Wärtsilä/ Finland)	日内連 WG15 対応国内委員会 JICEF WG15 committee	出口 誠 M. Ideguchi (ナブテスコ)	
17	WG: Gas Engines (ガス機関) I. Wilke (MAN E.S./ Germany)	日内連 WG17 対応国内委員会 JICEF WG17 committee	壽 和輝 K. Toshinaga (ヤンマーパワーテクノロジー)	
19	WG: Inland Waterway Vessels (内陸河川船舶) F. Wang (SMDER/ China)	日内連 WG5 対応国内委員会に対応	佐々木 慶典 Y. Sasaki (ヤンマーパワーテクノロジー)	
20	WG: System Integration (システム統合) H. Mohr (GasKraft Engineering / Germany)	日内連 WG15 対応国内委員会に対応	鈴鹿 廣志 H. Suzuka (IHI 原動機)	
21	WG: Propulsion (推進装置 (現状:Azimuth 等のルール検討)) T. Tamminen (Steerprop/ Finland)	日内連 当面メールベース	進士 禎一郎 T. Shinji (川崎重工業)	IHI 原動機、川崎重工業に対応

2. ISO(国際標準化機構)関係及び国内標準化事業関係

ISO(国際標準化機構)関係標準化事業は、経済産業省イノベーション・環境局からの委託に基づき実施する。

標準化事業では、国家的事業の一環と位置付けて、ISO 国際規格の作成において積極的な活動を進める。

2.1 ISO/TC70(往復動内燃機関)専門委員会

2.1.1 ISO/TC70 関係国際規格案に対する審議

国内の審議体制としては、次の国内審議委員会・分科会を継続設置して、規格案の審議を行う。

－ISO/TC70 国内審議委員会: 委員長 畔津 昭彦(東海大学客員教授/日内連参与)

主 査 芦刈 真也(日内連特別参与)

－ 同 TC70/SC8 分科会: 主 査 茶屋 達也(小松製作所)

2.1.2 国際会議開催予定(2025 年)

次のように予定されており、排気排出物の計測方法やその他の規格の中で将来燃料に対する審議が開始されている国際会議もあるので、積極的に日本の意見を反映していく。また、10 月には東京で ISO/TC70 本会議及び ISO/TC70/SC8 国際会議が開催されるので、成功裏に会議が行われるよう会員各社へのスポンサーなどの協力依頼も含め、準備を行う。

会議名	開催期日	開催地	出席者(敬称略)
2025 年			
ISO/TC70/WG10 (往復動内燃機関駆動発電装置 - 電氣的性状)	4 月 1/2 日	Zoom 会議	*鈴鹿廣志(IHI 原動機)
ISO/TC70/WG14 (往復動内燃機関駆動発電装置 - 機械的性状)	4 月 7/8 日	Zoom 会議	*杉本竜大(ダイハツ D) *飯田道博(本田技研工業) *佐藤俊孝(デンヨー) *芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/SC8, TC70/SC8/WG6 (排気排出物計測 - ISO8178 の改正)	4 月 23/24 日	フランクフルト / ドイツ ハイブリッド会議	茶屋達也(小松製作所) 菊野樹(堀場製作所) 山室秀雄(東京プラント) 芦刈真也(日内連)
TC70/SC8/WG6 (排気排出物計測 - ISO8178 の改正)	7 月 16/17 日	アウグスブルグ/ ドイツ ハイブリッド会議	茶屋達也(小松製作所) 菊野樹(堀場製作所) 山室秀雄(東京プラント) 芦刈真也(日内連)
ISO/TC70/SC8, TC70/SC8/WG6 (排気排出物計測 - ISO8178 の改正)	10 月 21/23 日	東京/ 日本 ハイブリッド会議	畔津昭彦(東海大学) 芦刈真也(日内連) 茶屋達也(小松製作所) 菊野樹(堀場製作所) 山室秀雄(東京プラント)
ISO/TC70/WG2 (用語及び定義)			
ISO/TC70 本会議 (往復動内燃機関)			

2.2 ISO/TC192(ガスタービン)技術委員会

2.2.1 ISO/TC192 関係国際規格案に対する審議

国内の審議体制としては、次の国内審議委員会を継続設置して、ISO 規格案の審議を行う。また、水素燃料安全性分科会及び必要に応じ少人数の作業部会を開き、特定のテーマについて討議する。

－ ISO/TC192 国内審議委員会: 委員長 川口 修 (慶應義塾大学名誉教授/日内連参与)

主 査 伊東正雄 (東芝エネルギーシステムズ)

2.2.2 国際会議開催予定(2025 年)

5 月に開催される予定の本会議において、水素燃料安全性規格の審議開始について日本から NWI を提案することになった。2023 年度から ISO/TC192 審議委員会及び水素燃料安全性分科会で審議した内容を、今までのロビー活動の結果を踏まえて、理解いただき承認を得るよう準備する。

会議名	開催期日	開催地	出席者(敬称略)
2025 年			
ISO/TC192/WG11	4 月 2 日、24 日	Zoom 会議	

ISO/TC192 (本会議)	5 月 12/14 日	ミラノ/イタリア	伊東 正雄(東芝エネルギーシステムズ) 國廣哲人(三菱重工業) 千田 充(川崎重工業)
ISO/TC192/WG4	5 月 12/14 日	ミラノ/イタリア	伊東 正雄(東芝エネルギーシステムズ) 國廣哲人(三菱重工業) 千田 充(川崎重工業)
ISO/TC192/WG11	5 月 12/14 日	ミラノ/イタリア	伊東 正雄(東芝エネルギーシステムズ) 國廣哲人(三菱重工業) 千田 充(川崎重工業) 宇野 光*(東芝エネルギーシステムズ) *オンライン参加

2.3. 国内標準化事業関係

JIS 関係の国内標準化事業については、経済産業省イノベーション・環境局・日本規格協会の委託を受け、特に国際規格と整合した国内規格の積極的な事業活動を進めていく。

2.3.1 2025 年度の予定

2024 年度から開始した JIS B8008-3、-9、-10(排気煙濃度の測定関連)の 3 件の規格に対応する ISO の構成が見直されており、JIS との相違が生じているため整合を図るべく、以下 3 件の規格の改正/廃止を行う。

【改正:仮題】

- 往復動内燃機関－排気排出物測定－第 3 部:フィルタスモークメータを使用する圧縮点火機関からの排気煙濃度の測定のための試験手順
- 往復動内燃機関－排気排出物測定－第 9 部:不透過率メータを使用する圧縮点火機関からの排気煙濃度の測定のための試験サイクル及び試験手順

【廃止】

- 往復動内燃機関－排気排出物測定－第 10 部:圧縮点火機関の過渡状態における排気煙濃度の 現地測定での試験サイクル及び試験方法

委員会の構成:

委員長: 畔津昭彦(東海大学/日内連参与)

主 査: 芦刈真也(ISO/TC70 日本代表)

委 員: 15 名(委員長、主査含め 中立者 6、使用者 4、生産者 7)

作業期間:2025 年 1 月～2025 年 9 月

2.3.2 日本産業標準調査会 産業機械技術専門委員会(事務局:経済産業省イノベーション・環境局)

日内連から引き続き芦刈特別参与が臨時委員(経済産業大臣任命)として、JIS 規格の新規・改正案の審議・承認に参画する。

2.4 標準化テーマ委託調査

経済産業省の令和 7 年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業に、往復動内燃機関及びガスタービンの将来燃料に対する ISO 規格取り組みに 2023 年度、2024 年度に引き続き以下のテーマで内示いただいた。本調査により、2.1 項及び 2.2 項の ISO 国際会議に積極的な対応を行い、将来燃料に対して日本のステータスを優位にするよう取り組む。

- 1) 往復動内燃機関の脱炭素化対応に関する国際標準化
- 2) ガスタービンの脱炭素化に対する安全性に関する国際標準化

3. EUROMOT 提唱・幹事、International Internal Combustion Engine Manufacturers Association (IICEMA; 国際内燃機関製造者協会) 国際会議

3.1 第 9 回 IICEMA 国際会議

第 9 回国際会議は日本陸用内燃機関協会のホスト(日本船用工業会機関技術委員会、日本内燃機関連合会協力)で東京において 11 月 18-20 日開催となった。EUROMOT 主体に他の団体も含め情報共有化のため引き続きフォローすべく参加する。

4. 技術普及・広報活動事業

- ・ CIMAC 及び ISO の場などを通じて、内燃機関に関する外国との情報交換に努め、更に海外技術資料、海外規格などの保

有・充実を計ると共に、必要に応じ可能なものについては会員への頒布を行う。

- ・ 日内連情報、ホームページ、メール及び LinkedIn により、内燃機関に関する情報等を会員に早期に提供していく。更に、当会主催の講演会等により、技術交流の場を提供していく。

4.1 日内連ホームページ

CIMAC WG 国内対応委員会及び標準化関係委員会の資料配布、イベント連絡などで活用しているが、一層の利用・活用促進を図る。

4.2 日内連情報の刊行

会員及び関係者に対し、関連技術情報、当会の活動状況などを知って頂くために、当会の機関紙として、“日内連情報”を刊行し頒布している。内容は、関係国際会議出席者の報告、講演会予定を主とし、特集の企画なども計画している。

また、配布も日内連講演会時や委員会委員に配布するなど、日内連活動に直接携わっている方々を中心に集中的に配布しているが、更に会員特典としての日内連ホームページ会員専用サイトからの pdf 版ダウンロードを定着させ、会員全員への情報発信を促進していく。

4.3 日内連技報の刊行

2025 年 5 月 19 日から 23 日に開催される第 31 回 CIMAC チューリッヒ大会で発表される全論文の日本語抄訳を掲載した日内連技報第 10 号を刊行する。

4.4 日内連主催の講演会開催

会員及び関係者への関連技術情報の提供及び普及を目的に、当会が主催して講演会を引き続き実施する。

今年度は、CIMAC 大会、標準化関係委託調査事業の関係から 1 回の講演会を計画する。

- ・ 第一回は 12 月以降に開催予定。

テーマ：「第 31 回 CIMAC チューリッヒ大会(発表論文注目点)報告(仮)」

「カーボンニュートラル・デジタリゼーションに関する世界の内燃機関技術開発動向(仮)」

4.5 JIS 制定に係わる印税

当会で JIS 原案を作成し、その後制定されたものについては、売り上げに応じて当会に印税が支払われる。

5. 日内連運営関係及び一般事項

5.1 総会、理事会、及び諸事業活動を通じての会員へのフィードバックのほかに、会員交流の場を持つようにしていく。

また、運営委員会にて、当会の運営についての方針及び基本的事項等について、決定又は承認を行っていく。

5.2 当会の諸活動と密接な関係にある諸団体、諸機関とは、緊密に協調して連携を計っていく。また、関連協会、学会などとの協賛又は後援による支援活動にも努める。

5.3 引き続き会員の増強に努める。また、内燃機関の使用者、及び関連技術又は周辺技術に関係する部門に働きかけていく。

5.4 日内連の将来について検討をし、活性化のために可能なものから実行に移していく。

日内連主要行事等一覧

[2025年4月～予定]

2024年5月 31日現在

区分 ○:日内連行事等(国内)

◇:CIMAC関係(国内)

☆:標準化関係(国内)

●:日内連行事等(海外)

◆:CIMAC関係(海外)

★:標準化関係(海外)

2025年

年-月-日(自/至)	区 分						主な出来事(行事・会議等の名称)	開催場所	参加者等	摘 要
	○	●	◇	◆	☆	★				
04-01/02						★	ISO/TC70/WG10国際会議	Web会議	鈴鹿 廣志	IHI原動機
04-04					☆		JIS原案作成分科会	ハイブリッド会議/ 日内連事務所		
04-07/08						★	ISO/TC70/WG14国際会議	Web会議	杉本竜大他	ダイハツ ディーゼル
04-08				◆			CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	ザルツブルグ/オーストリア	鈴鹿 廣志	IHI原動機
04-未定			◇				CIMAC WG15 "Controls and Automation"国内対応委員会	Web会議		
04-23/5-14	○						会計監査	電子データ監査		
04-28				◆			CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	ハイブリッド会議/ ラ・テファン/フランス	進士禎一郎	川崎重工業
04-29				◆			CIMAC WG21 "Propulsion" IACS Machinery Panelとの国際会議	ラ・テファン/フランス	進士禎一郎	川崎重工業
04-23/24						★	ISO/TC70/SC8/WG6国際会議	ハイブリッド会議 フランクフルト/ドイツ	茶屋 達也他	小松製作所
04-24					☆		ISO/TC192水素燃料分科会関係者会議	ハイブリッド会議/ 日内連事務所		
05-09					☆		ISO/TC70/SC8/WG6国際会議事後会議	日内連事務所		
05-12/13				◆			CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	ザルツブルグ/オーストリア	塙 洋二	神戸製鋼
05-13					☆		JIS原案作成分科会	ハイブリッド会議/ 日内連事務所		
05-12/14						★	ISO/TC192本会議、TC192/WG11及びTC192/WG14国際会議	ハイブリッド会議 ミラノ/イタリア	伊東 正雄他	東芝エネルギーシステムズ
05-13/14				◆			CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	パリ/フランス	西崎 宏美	三井E&S
05-15				◆			CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	Web会議	下川 啓介	ダイハツインフィニアース
05-16				◆			CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	エルサウ/スイス	壽 和輝	ヤンマーパワーテクノロジー
05-18				◆			CIMAC役員会	チューリッヒ/スイス	高畑 泰幸	ヤンマーパワーテクノロジー
05-18				◆			CIMAC評議員会	チューリッヒ/スイス	高畑 泰幸 他	ヤンマーパワーテクノロジー
05-19/23				◆			第31回CIMACチューリッヒ大会	チューリッヒ/スイス		
05-21				◆			CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	チューリッヒ/スイス	川瀬 貴章	ナブテスコ
05-CIMAC 大会期間中				◆			CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	未定	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー
05-26/27				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	エルサウ/スイス	佐藤 純一	IHI原動機
06-11/12				◆			CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	ケルベン/ドイツ	太田潤	ダイハツインフィニアース
06-12	○						日内連第175回運営委員会	ヤンマー/東京		
06-18					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同委員会	ハイブリッド会議/ 日内連事務所		
07-03				◆			CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	Web会議	鈴鹿 廣志	IHI原動機
07-10	○						日内連第118回、119回理事会・第71回通常総会	TKP新橋/東京		
07-16/17						★	ISO/TC70/SC8/WG6国際会議	ハイブリッド会議 アウグスブルグ/ドイツ	茶屋 達也他	小松製作所
未定					☆		ISO/TC70国内審議委員会	未定		
未定					☆		ISO/TC70/SC8国内審議委員会	未定		
08-20	○						日内連情報No.128発刊			
08-未定			◇				CIMAC WG15 "Controls and Automation"国内対応委員会	Web会議		
未定			◇				CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国内対応委員会	未定		
09-未定				◆			CIMAC WG15 "Controls and Automation"国際会議	バーサ/フィンランド	川瀬 貴章	ナブテスコ

区分 ○: 日内連行事等(国内)

◇: CIMAC関係(国内)

☆: 標準化関係(国内)

●: 日内連行事等(海外)

◆: CIMAC関係(海外)

★: 標準化関係(海外)

年-月-日(自/至)	区 分						主な出来事(行事・会議等の名称)	開催場所	参加者等	摘 要
	○	●	◇	◆	☆	★				
未定			◇				CIMAC WGs国内主査会議	未定		
10-07/08				◆			CIMAC WG4 "Crankshaft Rules"国際会議	オスロまたはハンブルグ	塙 洋二	神戸製鋼
未定				◆			CIMAC WG2 "Classification Societies"国際会議	未定	西崎 宏美	三井E&S
未定				◆			CIMAC WG5 "Exhaust Emission Control"国際会議	未定	佐藤 純一	IHI原動機
未定				◆			CIMAC WG7 "Fuels"国際会議	未定	竹田 充志	日本油化
未定				◆			CIMAC WG8 "Marine Lubricants"国際会議	未定	下川 啓介	ダイハツディーゼル
未定				◆			CIMAC WG17 "Gas Engines"国際会議	未定	壽 和輝	ヤンマーパワーテクノロジー
未定				◆			CIMAC WG19 "Inland Waterway Vessels"国際会議	未定	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー
未定				◆			CIMAC WG21 "Propulsion"国際会議	未定	進士禎一郎	川崎重工業
10-13/16				◆			CIMAC極東NMA会議及びCASCADES	巨済/韓国		
未定				◆			CIMAC役員会	未定		
未定				◆			CIMAC評議員会	未定		
10-21/23						★	ISO/TC70、TC70/SC8及びSC8/WG6国際会議	機械振興会館/東京	畔津 昭彦 他	東海大学
11-18/20		●					IICEMA(国際内燃機関製造社協会)国際会議(ホスト国:日本)	東京	佐藤 純一他	IHI原動機
11-25				◆			CIMAC WG20 "System Integration"国際会議	バーデン/スイス	鈴鹿 廣志	IHI原動機
未定					☆		ISO/TC70国内審議委員会	未定		
未定					☆		ISO/TC70/SC8国内審議委員会	未定		
未定					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同委員会	未定		
未定	○						2025年度第一回日内連講演会	未定		
未定	○						日内連第176回運営委員会	未定		
01-20	○						日内連情報No.129発刊			
未定					☆		ISO/TC70国内審議委員会	未定		
未定					☆		ISO/TC70/SC8国内審議委員会	未定		
未定					☆		ISO/TC192国内審議委員会・分科会合同委員会	未定		
未定			◇				CIMAC WGs国内主査会議	ハイブリッド会議 日内連事務所		

【 第 4号議案 】

2025 年度 一般会計収支予算書

2025 年 4 月 1 日
日本内燃機関連合会

項 目		2025年度 予算額(案)(a)	2024年度 予算額(案)(b)	増減 (a-b)	備考
前年度繰越金		39,609,058	38,085,288	1,523,770	
会費収入	団体会員	1,651,000	1,477,000	174,000	日本建設機械施工協会入会
	A法人会員	8,120,000	9,210,000	-1,090,000	ウッズ.Win-GD退会。ナプテスコ A→B
	B法人会員	4,836,000	3,596,000	1,240,000	ナプテスコ A→B
	C法人会員	14,500,000	14,500,000	0	
	小計	29,107,000	28,783,000	324,000	
委託金/補助金 収入	出張旅費補助	0	0	0	
	ISO委託事業	9,659,307	8,439,881	1,219,426	経産省委託事業
	小計	9,659,307	8,439,881	1,219,426	
70周年記念事業積立戻し		0	2,010,000	-	2024年度で終了
事務所移転費予備戻し		0	3,500,000	-	2024年度で終了
雑収入		2,500,000	1,900,000	600,000	講演会参加費;1回+JIS印税, JIS原案作成(¥80,000)
収入の部 (除く、繰越金)合計		41,266,307	44,632,881	-3,366,574	
収入の部 (含む、繰越金)合計		80,875,365	82,718,169	-1,842,804	
事業費	会議費	700,000	700,000	0	講演会1回(¥300,000)、理事会・総会(¥150,000)
	印刷費	50,000	70,000	-20,000	印刷枚数削減努力
	消耗品費	130,000	150,000	-20,000	
	旅費・交通費	750,000	800,000	-50,000	日内連講演会出張費含む
	通信費	870,000	590,000	280,000	通信機器セキュリティ向上など
	CIMAC会費	2,887,500	2,690,000	197,500	Euro17,500 @165円(会費アップ)
	国内団体会費	744,000	550,000	194,000	日本建設機械施工協会への入会
	調査・広報費	200,000	200,000	0	
	日内連情報刊行費	1,800,000	850,000	950,000	日内連技報¥900,000, 日内連情報・日内連技報発行部数減少
	雑費・支払い手数料	3,400,000	3,400,000	0	委託費含む
	小計(事業費Ⅰ)	11,531,500	10,000,000	1,531,500	
	CIMAC WG国際会議、等	3,000,000	1,600,000	1,400,000	CIMAC大会、CIMAC極東NMA会議出張費含む
	CIMAC 役員会・評議員会	600,000	1,000,000	-400,000	春(CIMAC大会)・秋開催
	ISO TC70国際会議	200,000	200,000	0	ISO/TC70/SC8会議は委託事業で計上
	ISO TC192国際会議	30,000	0	30,000	委託事業で計上
	日内連70周年事業	0	2,710,000	-	2024年度で完了
	小計(事業費Ⅱ)	3,830,000	5,510,000	-1,680,000	
	委託事業旅費	7,488,000	6,638,914	849,086	ISO/TC70+ISO/TC192
	委託事業会議費	443,516	125,981	317,535	ISO/TC70+ISO/TC192
	委託事業印刷・製本費	0	0	0	ISO/TC70+ISO/TC192
	委託事業諸経費	877,965	977,476	-99,511	ISO/TC70+ISO/TC192
	小計(事業費Ⅲ)	8,809,481	7,742,371	1,067,110	
	小計(事業費Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ)	24,170,981	23,252,371	918,610	
管理費	借室料	4,140,000	4,000,000	140,000	
	水道光熱費	350,000	450,000	-100,000	
	器具備品費	1,200,000	1,350,000	-150,000	
	事務所移転費	0	3,500,000	-	
	小計	5,690,000	9,300,000	-3,610,000	
人件費	給料手当	11,000,000	11,000,000	0	
	退職手当積立金	1,100,000	1,100,000	0	
	福利厚生費	2,050,000	2,050,000	0	
	小計	14,150,000	14,150,000	0	
支出の部合計(除く予備費)		44,010,981	46,702,371	-2,691,390	
予備費		36,864,384	36,015,798	848,586	
年度純収支(収入-支出)(除く予備費)		-2,744,674	-2,069,490		

[2025 年度日内連 国際会議開催関連特別会計 予算書]

2025 年 4 月 1 日
日本内燃機関連合会

項 目	2025年度 予算額(案)(a)	2024年度 予算額(案)(b)	増減 (a-b)	備考
前年度繰越金	2,419,174	2,419,174	0	2024年度繰越金は2023年度末時点
会員賛助金＋スポンサー協力	510,000	0	510,000	
雑収入	0	0	0	
収入の部 合計	510,000	0	510,000	
会議室(含む備品)	390,000	0	390,000	
昼食	210,000	0	210,000	
ケータリング他	140,000	0	140,000	
Welcome Party	300,000	0	300,000	
雑費	10000		10,000	
支出の部合計	1,050,000	0	1,050,000	